



inochi WAKAZO Forum 2023

— 想い、紡ぎ、輝くいのち —



はじめに

- 02ー フォーラムプログラム
- 06ー 一般社団法人inochi 未来プロジェクト
- 07ー inochi WAKAZO Project
- 08ー 協賛後援
- 09ー 歴史
- 11ー メンバー紹介

inochi Gakusei Innovators' Program

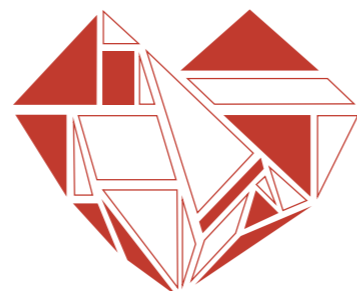
- 15ー inochi Gakusei Innovators' Program (i-GIP) とは
まるわかりSAS
- 17ー i-GIP KANSAI
- 21ー i-GIP KANTO
- 25ー i-GIP HOKURIKU
- 29ー i-GIP KYUSHU

- 33 i-GIP beyond
- 39 inochi Pharma Campaign Program
- 40 WKC Forum

41 WAKAZO

- ーWAKAZOとは
- ー今年度の活動

47 協賛企業広告



inochi WAKAZO Project

inochi WAKAZO Forum 2023 プログラム

第一部

12:30

開会宣言、本年度テーマ・審査員紹介

13:00

～睡眠時無呼吸症候群で苦しむ人を減らそう～
中高生代表7チームによるプレゼンテーション

15:35

プレゼンテーション結果発表・講評

第二部

16:20

WAKAZO 2023 Project Leader プレゼン

16:35

～inochi のペイフォワードで広がる未来～
パネルディスカッション

17:35

～言葉を通したペイフォワード～
LAST WORDS 宣言

司会 (敬称略)



アナウンサー/ラジオパーソナリティ
松岡 理恵

進行 (敬称略)



東京大学公共政策大学院教授
慶應義塾大学
政策メディア研究科特任教授
鈴木 寛

フォーラム メッセージ ー想い、紡ぎ、輝くいのちー

私達inochi WAKAZO Projectは「若者の力でいのちを守る社会を創る」をミッションに掲げ、i-GIPは中高生とともに課外活動としての教育プログラムやメンタリングの提供を通して試行錯誤を重ね、WAKAZOは2025年大阪・関西万博を起爆剤とした「誰もがいのちを守り合う新たな未来を創造する」をモットーに、共に若者が主体となって、いのちを守りたいという純粋で熱い想いを糧に活動を行ってきました。

i-GIPの今年のテーマである「睡眠時無呼吸症候群」の問題解決は、一人で完結するものではありません。症状の1つであるいびきに気づく人、「ちょっと受診してみない?」と声をかける人、治療の柱であるCPAPを継続するモチベーションを高めてくれる人など、患者さんの周りには様々な“想い”を持つキーパーソンが必要です。

私たち一人ひとりが周りの人を想い、その想いと想いを擦り合わせ、紡ぎ続けることの延長線上に睡眠時無呼吸症候群という疾患、ひいてはヘルスケア問題の解決があると考えます。

また、WAKAZOが取り組んでいる「inochiのペイフォワード」は、まさに「誰かの命を守りたい」という想いから、自らのデータを提供することで、いのちを守り合う社会を実現するシステムです。そして、「死」と向き合うことで、いのちについて想い、生き方を紡いでいくLAST WORDSプロジェクトも行ってきました。その全てが、自分そして周りの人のいのちを輝かせるものだとして強く信じています。

i-GIPとWAKAZO、2つのプロジェクトでは現場に足を運び、様々な想いに触れ、その想いと想いを着実に紡ぎ続けることでいのちを輝かせるべく活動してまいりました。このinochi WAKAZO Forum 2023は、i-GIP で数ヶ月間、睡眠時無呼吸症候群に取り組んできた中高生のプレゼンテーションを第一部に、世界中の人々を巻き込みながら「死」という観点から「いのち」を考え、「いのちを守り合う循環」を生み出してきたWAKAZO提供のパネルディスカッションを第二部に据えてお届けします。

若者たちが紡いできた想いが大きな糸となり社会と繋がっていく様子をご覧ください。

第一部 / i-GIP

第1部は、i-GIP KANSAI、KANTO、HOKURIKU、KYUSHUの各地域でのフォーラム優勝チームと、追加登壇枠獲得戦で選抜された3チームの、計7チームが「睡眠時無呼吸症候群」に取り組んだ成果をプレゼンテーションします。

そして、各界の名だたる審査員により本年度の優勝を決定いたします。
中高生の5ヶ月の活動の成果をぜひ、リアルタイムをご覧ください！

審査員 (敬称略)



池野 文昭
Program Director (U.S.)
Japan Biodesign/
Stanford Byers Center
for Biodesign



梶原 大介
参議院議員 /
睡眠議連



陳 和夫
日本大学 医学部 内科学系 睡眠学分野
睡眠医学・呼吸管理科学講座 教授
(研究所) /
同 附属板橋病院 睡眠センター長 /
京都大学 大学院 医学研究科
附属ゲノム医学センター 研究員
(特任教授)



葛西 隆敏
順天堂大学 大学院
医学研究科 循環器内科学
准教授 /
順天堂大学 医学部附属
順天堂医院
睡眠・呼吸障害センター
センター長



小俣 博司
一般社団法人
シビックテックジャパン
代表理事



八木 雅和
大阪大学 大学院
医学系研究科 保健学専攻
寄附講座 准教授

登壇チーム

KYUSHU とんでもないことをしでかしたい

HOKURIKU ALEGRIA

KANSAI カロリーメイトブルーベリー味

KYUSHU FJ

KANSAI fruit punch

KANTO LUCE

KANSAI 大仏ぼるぼる

各地域フォーラム優勝アイデア

inochi KANSAI Forum 2023 最優秀賞 /
神戸女学院中学部 / fruit punch /
「口の体操で笑顔になれるタクシー会社に！」

チーム名	fruit punch
中学高校名	神戸女学院中学部
メンバー	田中沙樹 園理愛 和田千尋 馬場奏音
課題	タクシー会社が導入しやすいSAS対策がないこと
解決策	タクシー会社の朝礼でマウスマイル体操を実施する
自己調査実績	＜ヒアリング＞ タクシー会社、各地観光バス、タクシー、乗客、乗務員、SAS患者など アンケート SAS患者、乗客、乗務員、タクシードライバー、タクシードライバーの家族、タクシードライバーの友人など ＜ヒアリング＞ タクシードライバー、タクシードライバーの家族、タクシードライバーの友人など ＜ヒアリング＞ タクシードライバー、タクシードライバーの家族、タクシードライバーの友人など

プラン概要
口の運動でみんな笑顔に
自覚のない潜在患者が多い
→SASによる交通事故の大きな原因
→自覚の有無にかかわらず会社全体で対策すべき
【タクシー会社の現状】
費用が高くて検査ができない
会社で導入できる対策がない

解決策
【MFT】
口や舌の筋肉を鍛える運動
ゼロコスト、導入しやすい、いつでもどこでも
【マウスマイル体操】オリジナルイラスト/音声/音楽
MFTをわかりやすくした約3分の動画
口の運動でみんな笑顔にという思いを込めて
マウスマイル体操
タクシー会社の朝礼でマウスマイル体操を実施
当日はミニバージョンのマウスマイル体操を流します！！
ぜひ一緒にやってみてください！！



北陸inochi学生フォーラム2023 1位 /
石川県立小松高等学校 / ALEGRIA /
「ホテルでパルちゃん！」

プラン名	ホテルでSASチェック
チーム名	ALEGRIA
メンバー	笹田塔子 和田夏葉子
行ったヒアリング	→一般人247人へのアンケート・日本健康生活研究所 →東京大学付属病院・西日本JRバス・日本航空株式会社 →東京カブセルホテル武蔵野・友達14人・友達の家・長野リゾート →ホテルオークラ・ホテル小松クワントホテル・八木ホテル小松 →石川県立小松高等学校・HOTEL GRANBARRIO KOMATSU →介護施設・フィリップス・NPO法人ヘルスケアネットワーク
課題	いびきから病気を疑い、病院を受診させる人が少ない。
解決策	ホテルにSASの簡易検査の機械を置いてそのホテルに宿泊した人にスクリーニング検査してもらおう。そして、その検査結果でいびき以外の客観的で科学的なデータを示し、病院を受診してもらおう。

プランの概要
①ホテルのホームページに下のポスターとSASの検査のオプションを掲載する。
②ポスターを見て気になった人が宿泊の予約と同時にオプションでSASの検査の予約をする
③検査の予約が入ったらホテルから検査会社に検査機器の注文をもらう
④お客さんの宿泊日に合わせて検査会社から検査機器をホテルに送ってもらう。
⑤宿泊日に検査をする
⑥検査機器を検査会社に返送する
⑦検査結果を通知する

検診結果が悪かった人 → 病院受診
ベルンズ
2人の子供がいる40歳の夫婦
共働き(会社員)
夫 日常的ないびきあり
運動習慣なし
妻 旦那のいびきがうるさくて快適な睡眠をとれていない



i-GIP KANTO Forum 2023 1位 /
八千代松陰高等学校 / LUCE /
「CPAPによる髪トラブルの解決」

プラン名	CPAPによる髪トラブルの解消
チーム名	LUCE
メンバー	石井沙由梨 伊東裕 伊藤古真 山本戸凜
課題	CPAPによる髪トラブルに悩まされるCPAP使用者
解決策	ヘアカーラーの素材をCPAPのベルトにつけて、ベルトを髪に固定する (ヘアカーラーの素材は髪を揉む構造になっている)

解決策の概要
ヘアカーラーの素材がついたバンド (以下プロダクト) をCPAPのベルトに巻く
プロダクトをつける部位の例: 側頭部、後頭部 (つける部位はカスタム可能)
(赤枠が試作品)

行ったアクション
ヒアリング先
・東京大学医学部附属病院呼吸器科 睡眠学 准教授 伊藤古真
・東京大学医学部附属病院呼吸器科 呼吸器学 准教授 伊藤裕
・東京大学医学部附属病院呼吸器科 呼吸器学 准教授 石井沙由梨
・東京大学医学部附属病院呼吸器科 呼吸器学 准教授 山本戸凜
・東京大学医学部附属病院呼吸器科 呼吸器学 准教授 伊藤古真 (試作品を制作)
・東京大学医学部附属病院呼吸器科 呼吸器学 准教授 伊藤裕 (試作品を制作)
・東京大学医学部附属病院呼吸器科 呼吸器学 准教授 石井沙由梨 (試作品を制作)
・東京大学医学部附属病院呼吸器科 呼吸器学 准教授 山本戸凜 (試作品を制作)
・東京大学医学部附属病院呼吸器科 呼吸器学 准教授 伊藤古真 (試作品を制作)
・東京大学医学部附属病院呼吸器科 呼吸器学 准教授 伊藤裕 (試作品を制作)
・東京大学医学部附属病院呼吸器科 呼吸器学 准教授 石井沙由梨 (試作品を制作)
・東京大学医学部附属病院呼吸器科 呼吸器学 准教授 山本戸凜 (試作品を制作)



KYUSHU Gakusei SAS Forum 最優秀賞 /
福岡工業大学附属城東高等学校 / FJ /
「未来へ羽ばたく私たちへ」

プラン名	未来へ羽ばたく私たちへ
チーム名	FJ
メンバー	松嶋聖彰 兼浦紗紀
課題	SASを発症している結果、日中に集中力が発揮できなくなっている人、学業成績が伸び悩んでいる。
解決策	高校生の中でSAS患者がどれだけの数か、とSAS患者をCPAP治療をした結果成績改善がある層がどれだけの数かについて、研究し、発表する。

解決策の概要
福岡大学の吉村力先生の監督下での研究
全校生徒についてSpO2簡易検査
あり なし
CPAP治療を実施
研究第一弾
学業成績の改善あり 学業成績の改善なし 研究第二弾

行ったアクション
ヒアリング先
・久留米大学学長 内村直尚先生
・福岡大学医学部 吉村力先生
城東高校 支援プログラム Jet-Engine 一次審査通過



第二部/ WAKAZO

WAKAZOとは

WAKAZOは、「誰かのいのちのために自分のいのちを大切にす未来社会」を目指す、医学生を中心としたプロジェクトです。
 大阪・関西万博の誘致を機に2016年に結成し、「inochiのペイフォワード」の実証実験や、大阪・関西万博に向けて日本と世界の若者が集うサミットの企画を行っています。

コンテンツ紹介

パネルディスカッション~inochiのペイフォワードで広がる未来~

大阪・関西万博でWAKAZOが構想するイベントについて考え、ディスカッションを行います。語り合うことを通して自分のいのちをみつめ、さらに周りのいのちを輝かせていくにはどうしたらよいかについて話し合います。

2025年、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、大阪・関西万博が行われます。この大阪・関西万博へ向けて、私たちWAKAZOは

- ・LAST WORDSとともに想いをのせ、未来への祈りをこめる「KOTODAMA」
- ・総勢60カ国の世界の国々から集まった若者による死生観についての対談である「いのちの対話」
- ・自身の生体情報をドネーションすることで、誰かのいのちをまもる「inochiのペイフォワード」を実現させる「ドネーションボックス」

これらを通していのち輝く循環を体験し、共創する5日間のイベントを構想しています。

登壇者



鈴木 寛 白波瀬 章 堺井 啓公 大坪 琉奈 川村 美妃 松井 瞳
 東京大学教授 慶應義塾大学特任教授 西日本電信電話株式会社 執行役員 技術革新部長 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会担当局長 滋賀医科大学医学部医学科 Vcan代表 UWC ISAK Japan WAKAZO 2023 メンバー 東京医科歯科大学歯学部歯学科 WAKAZO 2023代表

LAST WORDS 宣言~言葉を通したペイフォワード~

大阪・関西万博テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を考えていくうえで、「いのち」を見つめることは大切だとWAKAZOは考えます。今の社会で「いのち」を考えると、「生」にスポットライトが当たることが多いけれど、「死」という視点も欠かせないのではないかと。その考えのもと「死」と向き合い、最後に残したい言葉を考える企画「LAST WORDS」を私たちWAKAZOは提案します。
 「LAST WORDS宣言」では、今までLAST WORDSと向き合ってきたWAKAZOメンバーが各々のLAST WORDSを皆様に宣言します。みなさんもぜひご自身のLAST WORDSを考えてみてください。

一般社団法人inochi未来プロジェクト

みんなでinochiの大切さと未来について考え、行動するプロジェクト。医療者、企業、行政そして市民と患者も。関西・日本が、みんなで支え合いながら、健康で長生きできる街・国になることを目指します。



一般社団法人inochi未来プロジェクト 理事長 / 大阪大学 特任教授 / 大阪警察病院 院長 澤 芳樹

いのち輝く未来社会の実現を、皆さまとともに。

一人でも多くの心臓病に苦しむ患者さんのいのちを救うために、日々医療の現場でいのちと向き合い、格闘している医療者の立場から、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」について、フォーラムを開催させていただきます。新型コロナウイルスと闘い、共生し、予測できない不確実な未来に向かって生きていくためには、いのちを救い、力を与え、つなぐ活動と、経済社会活動が両立・循環する、新しい社会共有価値をみんなで考え、創り出すことが必要だと考えます。今回のご提案に少しでも興味を持っていただけた暁には、ぜひ、いのち輝く未来社会を実現するために、ご理解と支援のほどよろしくお願い申し上げます。

理事紹介



東京医科歯科大学 発生発達病態学分野 教授 森尾 友宏



慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 教授 中村 雅也



順天堂大学大学院医学研究科 再生医学 教授 順天堂大学医学部 形成外科学講座 教授 (併任) 田中 里佳



東京大学 教授 慶應義塾大学 政策メディア研究科 特任教授 鈴木 寛



京都大学大学院 医学研究科 臨床神経学 教授 高橋 良輔



慶應義塾大学医学部 教授 宮田 裕章



Program Director (U.S.) Japan Biodesign/Stanford Byers Center for Biodesign 池野 文昭



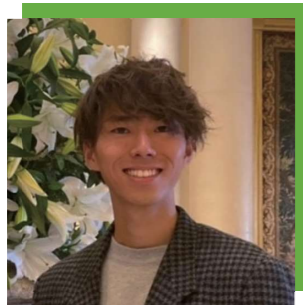
大阪大学医学部医学科卒業 医師 寺本 将行

inochi WAKAZO Project

「若者の力でいのちを守る社会を創る」をミッションに医療系の学生を中心とした約 150 名の学生が活動する、次世代イノベーター集団です。

2つのメインプロジェクトである、ヘルスケア課題の解決を中高生と行う「課題解決型」の inochi GakuseiInnovators' Program (i-GIP)、未来について考え、その在り方を万博でデザインする「未来提案型」の WAKAZO 両方の活動を行うことで、ミッションの実現を目指しています。

2023 Core Member



i-GIP KANSAI PL
加輪上 創介
奈良県立医科大学
医学部 医学科
5年



i-GIP KANTO PL
和田 功
昭和大学
医学部
4年



i-GIP HOKURIKU PL
山田 峻矢
金沢大学
理工学域 機械工学類
3年



i-GIP KYUSHU PL
尾崎 文香
長崎大学
医学部 医学科
2年



WAKAZO PL
松井 瞳
東京医科歯科大学
歯学部 歯学科
3年



i-GIP PM
吉田 堯史
東京工業大学
環境・社会理工学院
社会・人間科学系
科学技術社会分野
修士課程 1年



会計
戸舘 晃介
金沢大学
医薬保健学域 保健学類
看護学専攻
4年

協賛・後援のご紹介

私たち学生の活動は、支援して下さる素敵な大人の皆様からのご協力で成り立っています。この場を借りて御礼申し上げます。

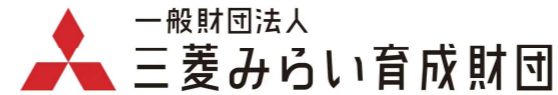
協賛

Donation Partner



i-GIP Partner

Gold Sponsor



Bronze Sponsors



Friend Sponsors



後援

公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会、公益社団法人 関西経済連合会、一般社団法人 関西経済同友会、大阪商工会議所、公益財団法人 関西・大阪21世紀協会、公益財団法人 大阪観光局、一般社団法人 日本バイオデザイン学会、一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構、一般社団法人 健康医療クロスイノベーションラボ、大阪公立大学 観光産業戦略研究所、金沢大学 融合研究域、文部科学省、独立行政法人 日本貿易振興機構 (JETRO) 大阪本部、公益社団法人 東京都医師会、一般社団法人 日本循環器学会、公益財団法人 日本心臓財団、一般社団法人 日本心臓病学会、一般社団法人 日本循環器協会、関西SDGsプラットフォーム大学分科会、大阪大学 社会ソリューションイニシアティブ、一般社団法人 日本睡眠協会 (JSLEEP) 一般社団法人 大阪府医師会 (順不同、11/23現在)

これまでの歩み・今年度の事業一覧

2015



寺本将行(当時大阪大学医学部4年)らにより inochi 学生プロジェクト(現: inochi WAKAZO Project) 創設

inochi 学生フォーラム(現: i-GIP)に6カ国の海外大の学生が参加

2016



「2025 大阪万博誘致若者100の提言書」を大阪府に提出

inochi 学生フォーラムに6カ国の海外大の学生が参加

2017



若者の力で大阪万博誘致の実現を目指す「WAKAZO」本格始動

2018



inochi 学生フォーラム優勝チームのアイデアが社会に出てプロジェクトに

BIE 総会にて日本代表の一人として招致プレゼン

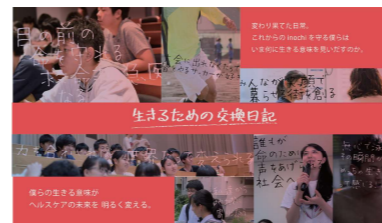
2019



万博に関する有識者委員として大阪府のワーキンググループに参加

inochi 学生フォーラム初の関東開催

2020



inochi 学生プロジェクトを inochi WAKAZO Project に改名

inochi 学生フォーラムを inochi Gakusei Innovators' Program (i-GIP) に改名

inochi Gakusei Innovators' Program KANAZAWA (現: i-GIP HOKURIKU) 初開催

2021



オンライン「inochi 未来・WAKAZO 適塾」開始

inochi Gakusei Innovators' Program 初の海外開催

inochi のペイフォワード実証実験を実施

2022



inochi Gakusei Innovators' Program KYUSHU 初開催

inochi のペイフォワードが PM Award 2022 ファイナリストに選出

2023



「LAST WORDS」が QWS チャレンジ 16 期に採択

メンバー紹介 i-GIP KANSAI, KANTO, HOKURIKU

本年度活動してきた運営大学生を紹介します。

●関西 ●関東 ●北陸 ●九州 ●WAKAZO



KANSAI PL
加輪上 創介
奈良県立医科大学医学部



KANSAI
赤澤 然
徳島大学医学部



KANSAI
生澤 歩乃佳
岐阜大学医学部



KANSAI
井手尾 和
大阪医科薬科大学薬学部



KANTO
塩田 実咲
立教大学社会学部



KANTO
四宮 彩名
慶應義塾大学環境情報学部



KANTO
嶋崎 朱音
国際医療福祉大学医学部



KANTO
茶田 深咲
国際医療福祉大学医学部



KANSAI
栗田 夢子
大阪公立大学医学部



KANSAI
小林 大貴
三重大学医学部



KANSAI
中野 星七
大阪大学工学部



KANSAI
濱田 帆花
大阪医科薬科大学医学部



KANTO
遠井 萌葉
順天堂大学医学部



KANTO
友寄 結奈
順天堂大学医学部



WAKAZO
松本 千広
千葉大学医学部



KANTO
吉田 堯史
東京工業大学大学院



KANSAI
清水 里桜
京都大学医学部



KANSAI
中井 茉佑
大阪公立大学医学部



KANTO
李 尚遥
福島県立医科大学医学部



KANTO PL
和田 功
昭和大学医学部



KANTO
青島 百花
慶應義塾大学法学部



KANTO
一倉 舞
順天堂大学医学部



KANTO
角谷 陽太
千葉大学工学部



HOKURIKU PL
山田 峻矢
金沢大学理工学域



HOKURIKU
石井 りん
金沢大学融合学域



HOKURIKU
植田 陽子
福井大学医学部



HOKURIKU
大原 榛華
金沢大学医薬保健学域



KANTO
川野 史帆里
北里大学医学部



KANTO
木越 斎
国際基督教大学教養学部



KANTO
坂本 双葉
弘前大学医学部



KANTO
椎名 萌子
千葉大学医学部



HOKURIKU
熊代 悠生
金沢大学医薬保健学域



HOKURIKU
佐藤 未彩桜
金沢大学融合学域



HOKURIKU
銅子 未咲希
金沢大学医薬保健学域



HOKURIKU
南雲 歩
金沢大学人間社会学域

メンバー紹介 i-GIP HOKURIKU, KYUSHU / WAKAZO



HOKURIKU

西 優香
富山大学医学部



HOKURIKU

根塚 将希
金沢大学医薬保健学域



HOKURIKU

橋本 菜佑
金沢大学医薬保健学域



HOKURIKU

濱 芽吹
金沢大学医薬保健学域



WAKAZO

麻生 怜子
東京医科歯科大学医学部



WAKAZO

上野 夏代
埼玉医科大学医学部



WAKAZO

川浪 聖奈
久留米工業高等専門学校



WAKAZO

川野 史帆里
北里大学医学部



HOKURIKU

藤田 捺希
石川県立看護大学看護学部



HOKURIKU

守内 愛結
金沢大学人間社会学域



WAKAZO

川村 美妃
UWC ISAK Japan



WAKAZO

國領 実果
早稲田大学基幹理工学部



WAKAZO

莊村 賢人
和歌山県立医科大学医学部



WAKAZO

基 峻
国際医療福祉大学医学部



KYUSHU PL

尾崎 文香
長崎大学医学部



KYUSHU 副PL

甲斐 響大
九州産業大学商学部



KYUSHU

上野 勇氣
佐賀大学医学部



KYUSHU

浦 悠衣
長崎大学医学部



WAKAZO

出木谷 達
兵庫医科大学医学部



WAKAZO

山中 麻里江
弘前大学医学部



WAKAZO

李 尚遥
福島県立医科大学医学部



KYUSHU

川崎 怜子
長崎大学医学部



KYUSHU

境 舞衣乃
佐賀大学医学部



KYUSHU

宮崎 崇文
長崎大学医学部



KYUSHU

吉田 堯史
東京工業大学大学院



WAKAZO 代表

松井 瞳
東京医科歯科大学歯学部



WAKAZO 副代表

中岡 仁南
同志社大学文化情報学部



WAKAZO

成 仁脩
大阪医科薬科大学医学部



WAKAZO

中本 好乃
神戸大学医学部

inochi Gakusei Innovators' Program(について)

inochi Gakusei Innovators' Program (略称：i-GIP) は、大学生と中高生がともに二人三脚でヘルスケアの問題に取り組む課題解決型プログラムです。

中高生がチームを組み、各チームに大学生がメンターとして伴走しながら、約5ヶ月の間、約12回の教育プログラムを通じてヘルスケア課題の解決を目指します。

i-GIPでは次の4つのやり方で課題解決を目指します。

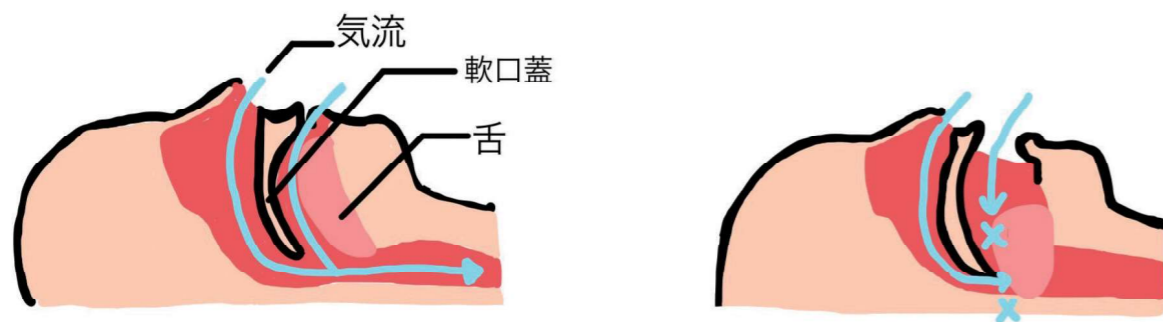
 <p>メンタリング 各チーム専任メンターによる半学半教教育</p>	 <p>ヒアリング 実際の医療現場や関係するステークホルダーの生の声を聴く</p>
 <p>教育プログラム 医師、専門家、起業家等によるご講演とアイデアのフィードバック</p>	 <p>フォーラム 中高生チームのコンペティションによるアウトプットの最大化</p>

2015年に関西から始まったi-GIPが全国に広がり、今年は全国、関西・関東・北陸・九州の中高生が「睡眠時無呼吸症候群（SAS）」をテーマに、その課題解決に取り組みました。

まるわかりSAS (睡眠時無呼吸症候群)

本年度のテーマである睡眠時無呼吸症候群(以下、SAS)とは、睡眠中に無呼吸または低呼吸が頻発し、いびきや日中の眠気を生じる病態です。

SASの中でも、上気道の閉塞によっておこる無呼吸・低呼吸の状態をOSAS(閉塞性睡眠時無呼吸症候群)といいます。



病態

正常(左)に比べて、OSAS(右)では、肥満などによって上気道が狭くなっており、睡眠によって筋肉が弛緩し、さらに上気道が狭くなります。

上気道が狭窄することにより空気が上気道で振動し、いびき音が発生します。上気道が完全に閉塞すると、気流が停止し無呼吸となります。

睡眠中の症状

いびき、呼吸停止、中途覚醒

日中の症状

眠気、集中力の低下、起床時の頭痛など

OSASの危険因子

肥満、高齢、閉経、顔面や上気道の形態異常など

治療

CPAP、OA療法、外科的手術、口腔筋機能療法、体位療法、減量など

【治療1】

CPAP療法 (持続陽圧呼吸療法)

装置からホース・鼻マスクを介して空気を気道に送り、常に圧力をかけて気道が塞がらないようにする治療法

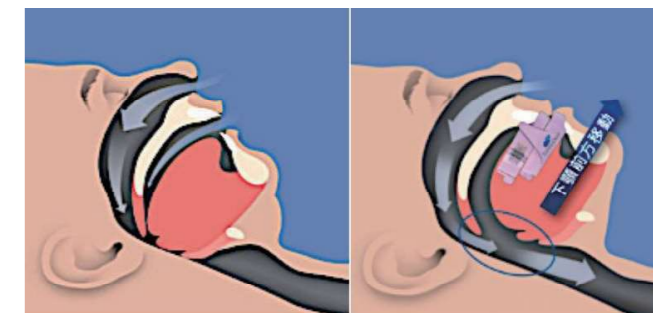


<https://www.resmed.jp/professional/therapy-masks/>
<https://mukokyu-lab.jp/sas/treatment.html>

【治療2】

OA療法 (口腔内装置)

睡眠時にマウスピースを装着し、下あごを前方に固定して空気の通り道が開くようにする治療法



<https://kikegawa.jp/oa/type>

解決策の4軸

i-GIPでは、以下の4つにより「SASで苦しむ人を減らす」ことを目指しました。

1. SASの早期発見と早期治療開始
2. SASの原因である肥満への介入
3. SASの中等症や重症患者の主要な治療法であるCPAPの効果的な使用
4. CPAP以外の治療法の適切な活用

アドバイザー

本年度、i-GIP の開催にあたり、以下の先生方を全地域のアドバイザーとしてお迎えしてアドバイスをいただきました。感謝申し上げます。



陳 和夫

日本大学 医学部 内科学系
睡眠学分野
睡眠医学・呼吸管理学講座 教授
(研究所) /
同 附属板橋病院 睡眠センター長 /
京都大学 大学院 医学研究科
附属ゲノム医学センター 研究員
(特任教授)



葛西 隆敏

順天堂大学 大学院
医学研究科 循環器内科学 准教授 /
順天堂大学 医学部附属 順天堂医院
睡眠・呼吸障害センター
センター長



内村 直尚

久留米大学 学長 /
日本睡眠学会 理事長

i-GIP KANSAI

PL 挨拶

父のいびきがうるさい。いつも眠たそうにしている。「それって睡眠時無呼吸症候群やと思うので、検査行ってみた方がいいよ」

父に指摘しましたが、なかなか検査へ行きませんでした。ある日やっとう重い腰をあげ検査に行くと案の定、中等度の睡眠時無呼吸症候群でした。

このようなケースは我が家だけではなく、日本中、世界中で起こっているのではないかと思います。調べてみると、実は社会全体で取り組むべき課題がたくさんありました。

たかがいびきと思われているが脳や心臓などに重大な合併症を引き起こすこと、検査のハードルが高く未治療の潜在患者が多いこと、いびきになかなか気づかないこと、CPAPが不快でなかなか続けられないこと、日中の眠気を引き起こすことで交通事故が既にたくさん起きていること。他にもたくさんあります。

睡眠時無呼吸症候群には社会で扱うべき課題がこれだけたくさんあるなら、私たち若者が本気で取り組まなければならない。そう考え、今年のテーマは「睡眠時無呼吸症候群で苦しんでいる人を減らそう」というテーマにしました。ではなぜ若者か。「若者だからこそ、守れるいのちがある」からです。

私は若者は「何者でもない存在」とであると捉えています。何者でもないからこそ、いろんな立場、職種の人の中に立ち、繋ぐ存在になれると思っています。それだけではありません。私たちは、自分たちが考えたアイデアを実際に社会に出していき、社会を創ることを大事にしています。

若者が本気でいのちを守り、社会を創っている様子をぜひご覧ください。

参加校

今年度は中学高等学校39校から、87チーム273名の方に応募いただき、16チーム、55名の生徒が参加しました。(府県別、五十音順)

大阪教育大学附属天王寺中学校、関西大倉高等学校、四天王寺高等学校
清風南海高等学校、高槻高等学校・中学校、桃山学院高等学校
神戸女学院中学部、甲陽学院中学校、灘中学校
智弁学園和歌山中学校
帝塚山高等学校、奈良学園登美ヶ丘高等学校、西大和学園高等学校・中学校
徳島市立高等学校



奈良県立医科大学
医学部医学科 5年

加輪上 創介

inochi KANSAI Forum 2023



最優秀賞

fruit punch

-田中 沙樹・和田 千尋・園 理愛・馬場 奏音-
(神戸女学院中学部)



プラン概要

口の運動でみんな笑顔に
自覚のない潜在患者が多い
→SASによる交通事故の大きな原因
→自覚の有無にかかわらず会社全体で対策すべき
【タクシー会社の現状】
費用が高くて検査ができない
会社で導入できる対策がない



【MFT】
口や舌の筋肉を鍛える運動
ゼロコスト、導入しやすい、いつでもどこでも
【マウスマイル体操】オリジナルイラスト/音声/編集
MFTをわかりやすくした約3分の動画
口の運動でみんな笑顔にという思いを込めて
マウスマイル体操

タクシー会社の朝礼でマウスマイル体操を実施


当日はミニバージョンの
マウスマイル体操を流します!!
ぜひ一緒にやってみてください!!



優秀賞

カロリーメイトブルーベリー味

-青木 梨衣奈・大桑 康大朗・牧野 皓太・青木 大和-
(智辯学園和歌山中学校)

チーム名	カロリーメイトブルーベリー味	プラン概要	らくSASコルセット
中学高校名	智辯学園和歌山中学校	 これを使うと... ● 三角柱のところが背中にあたり、仰向けにならない ● ゆるやかな傾斜によって、スムーズな寝返りを可能に ↓ 寝返りができる体位療法 →腰痛の発症・悪化を予防 対象者 40~50代 CPAPなどの標準治療を断念	←プロトタイプ簡易模型 ※京都試作ネット様に協力いただき、試作品を作成中 ※完成品はKANSAI Forumにて紹介予定
メンバー	青木大和 青木梨衣奈 大桑康大朗 牧野皓太		自己調査実績



奨励賞

ひよこ

-諸富 雛子・永谷 紗和・脇田 もも華・ウィリアムズ メリディアン 裕-
(高槻高等学校)



チーム名	ひよこ	プラン概要
中学高校名	高槻高等学校	SAS患者さんは適切な治療をしていても、運転中に眠ってしまうことがある。 ↓ 無理に運転をして、事故を起こしてほしくない!! 患者さんが仮眠する時に、SASマークを車体のバックミラー、ダッシュボードに付けてもらう
メンバー	永谷紗和、諸富雛子、脇田もも華、ウィリアムズメリディアン裕	【マークの変遷】 SAS患者さんの声、知り合い170人に実施したアンケート、アマチュアデザイナーの方のアドバイスを参考にしました!! マークのデザインは現在改良中です
課題	自家用車を運転するSAS患者が安心して車を停めて仮眠をとることができない	
解決策	車を停めている理由を周りの人に理解してもらい、自由に取外しできるSASマークを作成し、患者さんの車につけてもらう	
自己調査実績	滋賀医科大学睡眠センター長 角谷先生 中川駅前内科クリニック院長 二宮先生 学校の関係者とその保護者や知合い170人 保育園の園児の保護者102人 SAS患者の方8名 コンビニエンスストアの社員の方	

i-GIP KANSAI

教育プログラム (敬称略、肩書はプログラム開催日時点)

7/9

Kick Off Meeting

概要

初めて中高生と大学生が一堂に会しました。澤先生に若者が課題解決に取り組む意義や心構えについてご講演いただき、陳先生には睡眠時無呼吸症候群について中高生にわかりやすくご講演いただきました。その後は中高生と大学生の交流会を行い仲を深めました。

ゲスト

澤 芳樹：大阪大学大学院医学系研究科 特任教授
大阪警察病院 院長
陳 和夫：日本大学医学部内科学系 睡眠学分野
睡眠医学・呼吸管理理学講座 教授



7/23

Design Thinking Day

概要

木田川先生にデザイン思考についてご講演頂いたのち、ブレインストーミングをワークショップ形式で教えていただきました。その後、デザイン思考を用いて医療機器開発を行っていらっしゃる瀧様にご講演をいただきました。最後に小堀様から、チームでi-GIPの活動に取り組んでいく上で知っておくべきことをご講演いただきました。いくべきことをご講演をいただきました。

ゲスト

木川田 一崇：元大阪大学大学院国際公共政策研究科 客員教授
瀧 宏文：株式会社 マリ 代表取締役
小堀 拓磨：金沢大学人間社会学域国際学類 4年



7/30

Mentoring Day #1

概要

松下様にご自身の経験を活かしたものづくりについてご講演いただいたのち、OB メンターさんたちに睡眠時無呼吸症候群のどこに注目して課題解決を行なっていくかを、それぞれのチームに対してアドバイスいただきました。

ゲスト

松下 十良：株式会社 松下縫工所 代表取締役
中井 洸我：徳島大学医学部医学科 5年
相良 壮馬：大阪大学医学部医学科 4年
i-GIP KANSAI 2020 PL
片岡 悠登：suswork 株式会社



8/13

Prototyping Day

概要

藤本様のご講演および対談を通じ、画期的なアイデアの発想に自分自身が楽しむことがいかに大切か学びました。さらに京都試作ネット様のご助力を得てプロトタイピングに挑戦し、アイデアを実際の形にすることで新しい着眼点を得ました。

ゲスト

藤本 遼：株式会社 ここにある 代表取締役
佐々木 智一：一般社団法人 京都試作ネット 代表理事
佐々木化学薬品株式会社 代表取締役
岡本 貴利：株式会社 イーエル・オカモト 代表取締役
小島 久嗣：共進電機株式会社 代表取締役



8/27

Presentation Day

概要

代表の加輪上からプレゼンテーションの心構えや、思いを伝えるための話し方のヒントをお話ししました。その後、中高生に用意してきてもらったプレゼンを実際に行ってもらいました。大学生からのフィードバックを行い、他チームのプレゼンを見て Interim Presentation に向けてプレゼンを見直す機会になりました。



9/10

Interim Presentation

概要

医療、ビジネスなど幅広い分野で活躍なさっている方を審査員にお迎えし、中間発表会を行いました。審査員の方からアドバイスをいただいていた自分のアイデアを見直す機会になり、全てのチームが新たな気持ちで再スタートを切りました。

ゲスト

田岡 凌：suswork 株式会社 代表取締役社長
瀧 宏文：株式会社 マリ 代表取締役
村田 七海：和歌山県立医科大学附属病院 研修医
学生団体 WAKA×YAMA Founder/ Global Shapers Community 所属
其道 忠久：株式会社 電通 /inochi 未来プロジェクト事務局



9/17

Mentoring Day #2

概要

4名のメンタリング講師をお招きし的確かつ社会的な実装に焦点を当てたアドバイスを頂きました。さらに清元様のご講演と大学生メンターからの講義を交え、フォーラムという目の前のゴールだけでなくi-GIP 終了後の活動についてもビジョンをより明確にしました。

ゲスト

田岡 凌：suswork 株式会社 代表取締役社長
高橋 徳行：武蔵大学 経済学部 経営学科 教授 兼 学長
清元 佑紀：inochi Gakusei Forum 2017 PL
寺本 将行：inochi 未来プロジェクト理事
inochi WAKAZO Project 創設者

10/22

Final Pitch Day

概要

inochiの活動終了後の自身の姿をそうぞうしてもらうために、i-GIP beyondのチームからお話を伺いました。迫力のあるプレゼンをするために、パフォーマーである寶船からご講演、パフォーマンスをしていただきました。

ゲスト

inochi x together の皆さん
寶船：プロ阿波踊りパフォーマンス集団



11/5

inochi KANSAI Forum 2023

概要

観客の前で4か月間かけて考えてきたアイデアを発表しました。その後、高島市長からご講演を頂き、自分の将来を考えるきっかけをもらいました。i-GIP の教育プログラムが終了する日であると同時に新たな一歩を踏み出す日となりました。

ゲスト

高島 峻輔：芦屋市長
其道 忠久：株式会社 電通 /inochi 未来プロジェクト事務局
佐々木 智一：一般社団法人 京都試作ネット 代表理事
黒川 貴史：レスメド株式会社 代表取締役社長
陳 和夫：日本大学医学部内科学系 睡眠学分野
睡眠医学・呼吸管理理学講座 教授
澤井 典子：認定 NPO 法人 deleteC 理事



i-GIP KANTO

PL 挨拶

「人を見て、人に向き合う」
 これは、私が7月のはじめに、中高生、大学生に届けた言葉です。
 私たちは、何気なく過ごしていますが、自分自身の見えるところ、見えないところで多くの人に支えられながら生きています。そして、これまでの私たちを創ってきたのは自分に関わってくださったたくさんのおかげであると日々感じています。だからこそ、私は、自分の周りの人を大切すべきであると考えています。

そんな自分を創ってきた社会を、注意してゆっくり見渡してみると、実はいのちや健康を脅かされている人が多いです。現状のヘルスケアは医療や行政で成り立っていますが、それらが包括する範囲には限界があり、それらのサービスの外で苦しむ人は多くいます。そんな方に寄り添い、その人がもつ課題に取り組むのが「i-GIP」というプログラムです。

ヘルスケアの領域において、医療や行政が担うべき役割も大切ですが、それと同時に市民自身も積極的にヘルスケアに関わり、行動をすることがとても大切です。そして、この両者が協力し合い、役割を全うすることで、市民レベルのヘルスケアが実現できると私は考えています。さらに、中高生たちのように、若い世代がヘルスケアに参加することは、将来の社会をより健康で持続可能なものにしていく重要なステップであり、彼らの勇姿を通じて、私たちは人に向き合い共に歩む大切さを再認識し、未来への希望を社会に発信していきます。



昭和大学
 医学部4年
和田 功

参加校

今年度は25の中学高等学校、33チーム92名の方に応募いただき、以下の高等学校から16のチーム、48名の生徒が参加しました。(五十音順)

- 開成高等学校、川崎市立川崎高等学校
- 慶應義塾湘南藤沢高等部、渋谷教育学園渋谷高等学校
- 昭和女子大学附属昭和高等学校、筑波大学附属高等学校
- 広尾学園高等学校、不二聖心女子学院高等学校
- 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校・附属中学校
- 本郷高等学校、宮城県仙台二華高等学校
- 八千代松陰高等学校

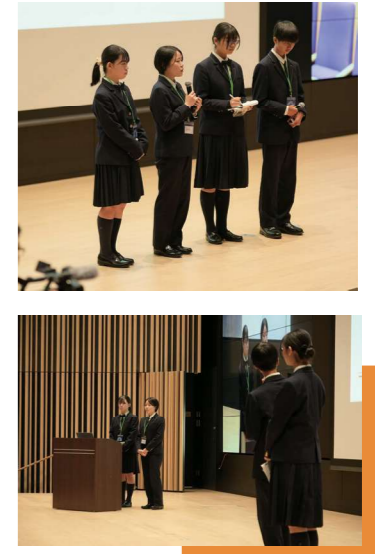


i-GIP KANTO Forum 2023

第1位

LUCE

-石井沙由梨 山木戸沙凪 伊藤杏真 伊東伶-
 (八千代松陰高等学校)



第2位

Integral

-守安巧 井上煌平 高橋柚姫 小田木輝-
 (本郷高等学校、川崎市立川崎高等学校、開成高等学校)

プラン名	ダウン症SASを救う「SASED21」の提案	解決策の概要	画像認識とEMG(筋電位測定)の技術によって、口腔トレーニング7種類を自動認識します。そして、正しくトレーニングができると、ご褒美ボックスが動くという仕組みです。加えて、アプリでは利用者のトレーニングのデータを蓄積し、そのデータを研究に活用することで、今まで目指られてこなかったマイノリティへの口腔トレーニング治療の発展に貢献することやアプリの画像認識の精度向上に役立てようと考えています。
チーム名	Integral	課題	手術が適応されない子供達には治療法が限られていること。そのような子どもたちに期待される口腔トレーニングの効果検証に関する研究が少ないこと2つです。
メンバー	守安巧 井上煌平 高橋柚姫 小田木輝	解決策	解決策は、ご褒美ボックスと口腔トレーニングを評価する画像認識搭載のアプリでの口腔トレーニングの習慣化です。気を付けた事は報酬さんの手帳を軽くすることで、我々の解決策では、見ていなくても画像認識があるため、ご褒美をボックスに入れて置くだけで済みます。また、ボックスタイプにすることで、目の前にご褒美がある状態でのトレーニングで、子どもたちのやる気が高まるような工夫をしました。
ペルソナ	97%の確率でSASを併発するダウン症の子もいます。その中でも、手術が適応外で治療法が限られている軽度・中等症の子どもをペルソナに設定しました。	行ったアクション	鹿児島大学小児科 植田教授 東京大学 神谷教授 みいりクリニック 今井先生 吉原病院 古徳先生 飯野クリニック 飯野先生 千葉大検査部 東京クリニック ダウン症グループの会 Acceptions 古市さん NPO法人 Suplife グッドネイバースカンパニー シューズラボ



第3位

Columbus

-高見一葉 櫻井翔夕 谷川直帆-
 (広尾学園高等学校)



プラン名	お父さん、SASってね...!	解決策・その概要	SASについて正しく学び、家族で話をするることによって、危機感を共有し、積極的に受診を検討する機会をつくるため、中学・高校の保健体育の授業で使用できるSASの教材を作成し、普及させる。
チーム名	Columbus	課題	学習指導要領により保健体育科で生活習慣病を学ぶことになっている。その多くがSASの合併症であるため、生活習慣病と同時にSASについて学ぶように副教材を作成する。副教材は①SASの知識を学ぶ副教材 ②学んだことを印象づけさせるためのアクティビティとしてのスローク ③家庭での話題のきっかけをつくるワークシートの3点。
メンバー	櫻井翔夕 高見一葉 谷川直帆	行ったアクション	普及させるための工夫としては、各学校に現物を郵送したり、ウェブページから自由にダウンロードできるようにすることを考えている。現在は試作品を中高生に体験してもらい改良を重ねている段階。3学期には私たちの通う学校やヒアリングをした公立の中学校の保健体育の授業で実際に使用してもらえたいと考えている。
ペルソナ	40代男性。妻と中学生の子と同居。子にいびきを指摘され、症状から自分でもSASを疑っているが、そのうち治ると考え病院受診には至っていない。SASは治療が必要な病気だとは知っているが「自分は大丈夫!」だと危機感をもって考えていない。		

- 三浦市立初声中学校 英語科 高見陽子先生
- 保健体育科 青野悟先生・川名謙巳先生
- 順天堂大学練馬病院病理科 横江珠也先生
- 東京工業大学教授ゲームクリエイター 山本貴光先生
- (副教材を作るため、Medit Labという活動に参加しました)
- 藤沢市民病院副院長 阿南英明先生
- いけがみ眼科整形外科副院長 澤崎弘美先生
- 日本女子大学3年 布川詩子さん(視覚、色覚について相談)
- 保健体育科 佐藤友寛先生
- 広尾学園中学校1・3年生・高等学校1・2年生へアンケート調査計3回

i-GIP KANTO

教育プログラム (敬称略、肩書はプログラム開催日時点)

7/9

● Kick Off Meeting

概要 課題解決に当たって必要な熱意と覚悟を得る日

ゲスト 澤 芳樹 : inochi 未来プロジェクト 理事長 / 大阪大学 特任教授 (online登壇)
本間 有貴 : 合同会社Socii CEO



7/16

● SAS Day

概要 SASについての問題を理解し、この問題を身近に感じる日

ゲスト 陳 和夫 : 日本大学 医学部 内科系睡眠学分野 睡眠医学・呼吸管理學講座 教授 等
平尾 彰浩 : 株式会社Surg storage 代表取締役 CEO



7/30

● 課題発見 Day

概要 社会実装に向けてアドバイスをもらうとともに、課題の深掘り方や課題解決の方法について学ぶ日

ゲスト 竹下 修由 : 国立がん研究センター 医療機器開発推進部門 医療機器開発支援部 部長 / 医療スタートアップ支援室 室長 / 大腸外科 医員



8/11

● Pitch Day # 1

概要 プログラム開始から1ヶ月時点での成果を発表し、フィードバックをもらう日

ゲスト 安達 太郎 : 昭和大学 医学部 内科学講座 循環器内科学部門 准教授
国富 太郎 : 順天堂大学 医学部 医学科 6年 / i-GIP 2021 KANTO PL

8/27

● プレゼン Day

概要 聞き手の心を動かすプレゼンテーションの方法を学ぶ日

ゲスト 石原 陽平 : 株式会社 ファーストキャリア ナレッジ開発本部 シニア・マネージャー



9/17

● Planning Day

概要 実装に向けて見通しを立てる日

ゲスト 高野 守生 : 元 高校生起業家 株式会社Backstage
吉田 剛 : NEDO イノベーション推進部長

9/24

● 合同 Pitch Day

概要 審査員から解決策の実現への意見をもらう日 i-GIP KYUSHU の中高生とフィードバックしあう日

ゲスト 平尾 彰浩 : 株式会社Surg storage 代表取締役CEO
小賀 徹 : 川崎医科大学 呼吸器内科学 主任教授
相良 壮馬 : 大阪大学 医学部医学科4年 / i-GIP 2020 KANSAI PL



10/8

● Pitch Day # 2

概要 i-GIP KANTO Forum に向け、これまでの成果を発表しフィードバックをもらう日

審査員 阪川 洋一 : グローバル・ブレイン株式会社 Investment Group Director
竹田 健一郎 : 千葉大学 大学院 医学研究科 呼吸器内科学 特任教授
清元 祐紀 : inochi学生フォーラム2018 PL

10/29

● i-GIP KANTO Forum 2023

審査員

葛西 隆敏 : 順天堂大学 大学院 医学研究科 循環器内科学 准教授 等
中村 智幸 : MedVenture Partners 株式会社 パートナー
作本 貞子 : NPO法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS) 副理事長
楠 裕司 : 渋谷睡眠・呼吸メディカルクリニック 院長
高尾 理雄 : TOPPANホールディングス株式会社 事業開発本部 事業開発統括ヘルスデータ事業推進センター 新事業開発部 課長
東京大学 大学院 医学系研究科 皮膚科学 研究員

ゲスト

高宮 有介 : 昭和大学 医学部 医学教育学講座 客員教授



i-GIP HOKURIKU

PL 挨拶

私たちの身の回りには、守れるはずも未だに守れていない命が多く存在します。

私は、医療を専門に学んでいない市民のひとりであり、今までずっと「命を守る」ことに無関心でした。「健康のことは医療者に任せておけばいい」と、ずっと思っていたからです。

しかし実際に医療現場を目にすると、その考え方が変わりました。

現場では、専門家の絶え間ない努力によって技術と治療法が進化し続けています。年々、体制が整備され、守られる命が増えつつあります。

にも関わらず、取りこぼしてしまういのちが未だ多くあります。

これは私たち市民の関心が薄く、医療者頼りの考えでいるからだと感じています。医療の専門家が新しい技術や治療法を世に提供しても、市民も意識、行動を起こしていなければ、守ることができるはずのいのちを確実に守っていく未来を創れません。

私たちは、この、医療と市民の手をとり、繋ぐ架け橋となることで、医療者頼りでは取りこぼしてしまう個人を守りたい、その想い一心で泥臭く活動してきました。

医療者、市民の両者の生の声を聞き、私たちならではのアプローチで彼らの抱える課題と本気で向き合ってきた成果を、そして私たちからでも守ることができる、いや私たちにはしか守ることができない命があることを示すフォーラムの場を提供します。ぜひご覧ください。



金沢大学
理工学域機械工学類 3年
山田峻矢

参加校

4年目の今年度は中学高等学校5校から、13チーム34名の方に応募いただき、以下の中学校・高等学校から7チーム、17名の生徒が参加しました。(県別、順不同)



- ・石川県立小松高等学校
- ・金沢大学附属高等学校
- ・星稜高等学校・中学校
- ・仁愛女子高等学校



北陸inochi学生フォーラム2023

1位

ALEGRIA

-笹田塔子、和田夏菜子-
(小松高等学校)



2位

stars

プラン名	SASパジャマ	プランの概要	SASパジャマ 着中のクッションで横向き寝に！ “めんどくさがり”や“多忙”な人でもできるだけOK
チーム名	stars		
メンバー	及川愛実 亀永きらり		
行ったヒアリング	X(Twitter)でSAS患者10名 SAS患者(メンバー)の動画13巻 調査 横濱市 金沢大学附属高等学校 急性呼吸器科看護学専攻(看護)		
課題	体位依存性OSA患者の 横向き寝実践のための最適な道具がない		
解決策	日常生活で簡単に 横向き寝を継続できる SASパジャマ		
		SAS患者の声	使ってみて！ こんな商品があったら 買う！
		今後の展望	企業とタイアップして 商品の実現可能性を より高める

-及川愛実、亀永きらり-
(星稜高等学校)



3位

チョコレート

-佐藤里彩、勝見碧、林千晴-
(金沢大学附属高等学校)



プラン名	PPPちゃん	プランの概要	ベルソナ ・40、50代 ・日中眠気を感じている ・10代の子供がいる ・観光、レジャーの目的で高速道路を利用する(家族旅行)
チーム名	チョコレート		
メンバー	勝見碧、佐藤里彩、林千晴		
行ったヒアリング	知り合いのSAS患者さんへのインタビュー 金沢医科大学睡眠医学センター 堀有行先生 やわたメディカルセンター 中村暁子先生 街頭調査(111人)		
課題	自分がSASだと理解していないドライバーが運転を続けることでSAS患者もその他のいのちを落とす可能性がある		
解決策	サービスエリアのフードコートで呼び出しプザーとともにSASIに関するサイトQRコードを表示する		
		POINT!! ・待ち時間に着目！ ・交通に関連した場所、特に眠気を感じやすい場所(高速道路)に設置することで、より危険感を感じてもらえる ・病院受診までのステップを減らす	

i-GIP HOKURIKU

教育プログラム (敬称略、肩書はプログラム開催日時点)

7/2

● キックオフ

概要 プログラムのゴールの把握、SASの基礎知識の学習を行った。

ゲスト 藤本 由貴：金沢みんなクリニック 院長
米田 隆：金沢大学 融合研究域融合科学系 教授



7/9

● デザインシンキング Day

概要 中高生と大学生が正しくデザイン思考を理解し、アイデアが広がる楽しさを知った。

ゲスト 柴田 雄一郎：一般社団法人i-ba代表理事/
熊本大学・京都芸術大学非常勤講師



7/16

● テーマ勉強会

概要 SASの知識とリサーチやヒアリングの方法について、大学生からのレクチャーと、前回のデイで学んだデザインシンキングを用いて、SASの課題を深堀った。また、今後の活動の目標と計画を見直した。



7/23

● 現場見学 Day

概要 SAS患者に対する理解を深めるため、CPAPの装着の体験を行った。また、患者、医療機器メーカー、医師の3名によるパネルディスカッションから、CPAPの効果的な使用方法とアドヒアランス向上について学んだ。

ゲスト 中村 暁子：やわたメディカルセンター 呼吸器内科
米田 隆：金沢大学 融合研究学域融合科学系 教授
舟橋 純一：株式会社フィリップス・ジャパン
スリープ&レスピラトリーケア事業部
中部ブロックマネージャー
宮本 歩美：同上
中部ブロック金沢支店第1課/
日本睡眠学会認定検査技師
斎藤 淳：同上
営業戦略部



8/13

● プロトタイプ Day

概要 プロトタイプ作成や実証実験について学習し、実際に自分の手で作成することで、その大切さを学んだ。

ゲスト 秋田 純一：金沢大学 融合研究域融合科学系 教授



8/27

● 中間コンペ

概要 アイデアを発表し、審査員からフィードバックをいただくことで、アイデアを見返した。

ゲスト

若林 聖伸：わかば内科クリニック 院長
篠田 隆行：金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 准教授
高沼 理恵：金沢大学 融合研究域融合科学系 助教
浅野 奈美：石川県立中央病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師
京道 美里緒：金沢市立病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師
前田 朝陽：金沢医科大学病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師
石川 悠：金沢大学 融合学域先端学類3年/
株式会社 FitLinX 代表取締役社長
相良 壮馬：大阪大学医学部医学科 4年/i-GIP 2020 KANSAI PL



9/24

● アイデアお披露目会

概要 福本様の社会実装についての講演と、専門家によるフィードバックを通して、解決策や発表のわかりやすさについて、俯瞰して見直した。

ゲスト

福本 和生：徳島大学 医学部 医学科 6年 / i-GIP 2021 TOKUSHIMA PL
高沼 理恵：金沢大学 融合研究域融合科学系 助教
相馬 正護：十全化学株式会社 総務取締役
西川 登偉：和歌山県立医科大学 医学部 医学科 6年
工藤 信明：金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 特任准教授
中島 花音：滋賀医科大学 医学部 医学科 4年 / Vcan 創設者
米田 隆：金沢大学 融合研究域融合科学系 教授



10/8

● プレゼン Day

概要 北陸inochi 学生フォーラムの発表のために、i-GIP修了生でもある岡田様に講演してもらった。

ゲスト 岡田 紗季：inochi 学生フォーラム(現:i-GIP) 修了生

10/22

● 北陸 inochi 学生フォーラム 2023

明日への目覚め ~この手で救えるいのちを、見つけ、守る~

概要 中高生チームによる発表に加え、ご参加いただいた一般市民の方々へのSASの啓発を目的に、堀先生のご講演や参加型睡眠チェックを行った。北陸のヘルスケア課題を、一般市民を含めた地域社会全体で解決していくことの重要性を発信する貴重な機会となった。

ゲスト 審査員

堀 有行：金沢医科大学 副学長
塩川 達大：金沢大学 副学長
米田 隆：金沢大学 融合研究域融合科学系 教授
工藤 信明：金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 特任准教授
小野 容明：横浜呼吸器クリニック 院長



i-GIP KYUSHU

PL 挨拶

あなたにとっていのちを守るとはなんですか。
 高校生のみなさんへ選考中に一番最初にきいた質問です。
 もしかしたら、「いのちを守る」ということを皆さんが聞いたとき、目の前にいる息絶えそうな人の命を救う、病気をなくすという意味で捉えられるかもしれません。
 でもはたしてそれだけでしょか。
 医療が発展して、平均寿命が伸びた結果、病気とともに生きる期間が伸びているように思います。病気とともに生きる上で諦めなければならないことを抱えながら生活するうえでの、生きづらさをなくすことも、その人のいのちを守ることになる、そう考えています。

私たちはSASで苦しむ人を減らすために必死に5か月奔走してきました。
 SASにおいていのちを守るとはなんでしょうか。
 SASは潜在患者がとても多く、その大半はSASだと自覚していません。
 いびきをかいていてその指摘を誰かからうけていたとしても病院に行くのがめんどくさかったり、検査が2回もあるので日程をあわせることが億劫になったり、たくさん問題があるでしょう。
 さらにSASの有効な治療とされているCPAPIは一度使うと、眼鏡と同じく夜ずっとつけて寝ることが必要になります。そんなずっと使い続けるCPAPを使いやすくする工夫、装着時の不快感などを改善するのは医療従事者だけの仕事でしょうか。
 それは、そばにいる家族、友人にもできることで、決して医療従事者だけの役目ではない。

けどどうしても手が届かなかったいのちもあります。肥満の改善が必要とされているけどできない人、いびきの指摘がない人など、個人の意識の問題に帰着する部分も多くありました。
 私たちにできなかったけど、本人にはできることもあります。
 いのちを守ることができるってことを知って、行動する、その行動が小さくてよい。
 (家族の食生活に気をつけるとか、健康診断は毎年いくとか)
 一人一人の毎日の些細なヘルスケアに対する気遣いが、今、守れていないいのちを守ることにつながっていきます。
 このフォーラムに参加していただいたみなさんが、明日から私でもできるいのちを守るといふ輪を紡いでいっていただければと思います。



長崎大学
 医学部 医学科 2年
 尾崎 文香

参加校

2年目の今年度は中学校、高等学校22校から、38チーム120名の方に応募いただき、以下の高等学校から10チーム、32名の生徒が参加しました。(県別、五十音順)



- 筑紫女学園高等学校、福岡工業大学附属城東高等学校
- 福岡県立城南高等学校、福岡県立筑紫丘高等学校
- 福岡雙葉高等学校
- 佐賀県立致遠館高等学校、早稲田佐賀高等学校
- 長崎県立長崎東高等学校
- 熊本学園大学付属高等学校
- 広島女学院高等学校



KYUSHU Gakusei SAS Forum

GrandPrix -最優秀賞-

FJ

-松崎葵彩 美浦紗妃-
 (福岡工業大学附属城東高等学校)



semi-GrandPrix -優秀賞-

とんでもないことをしてかしたい

<p>プラン名 省スペース型枕「SNON」の開発 チーム名 とんでもないことをしてかしたい メンバー 石原瞳 中村颯希 野上璃久</p> <p>行ったヒアリング 唐津城内病院 松永院長 たかお医院 高尾院長 ・ ・ ・ ・ ・ 梶島先生 佐賀県大町災害担当 公門さん SAS患者 日本国籍 30代男性 日本国籍 50代男性 外国籍 40代男性 etc..</p> <p>課題 災害時避難所生活を送る中でCPAPが使用できず、SASの症状(着目したのはいびき)が発症すること</p> <p>解決策 横寝を促すことのできる避難所に備蓄可能な三角柱の形をしたエア枕の開発</p>	<p>プランの概要 避難所生活ではいびきといった夜間の騒音がトラブルになる。いびきを軽減するのに有効とされる体位は、横寝・うつぶせ寝である。日本人のSAS患者は体位療法を行うことでいびきが半以下になるとのことも聞いた。そこで私たちは上記の解決策を提案する。 この解決策は、多くの避難所にすでに備蓄されている段ボールベッドと併用することを想定している。 三角柱の1つの角を睡眠に適している15度に設定し、もう1つの角を腰に挟んで横寝を促すことに適した30度に設計した。腰に挟むのが困難な場合は残りの大きい角を膝裏に挟むことで抱き枕として使用することができ、横寝を促すことができる。普及させるためにはSAS患者以外からのニーズも必要である。汎用性が高い商品にするために、空気圧調整することで座布団や背もたれなどとしてSAS患者以外も使用することができるよう設計した。避難所にコンパクトに備蓄できるようにエア枕として作成した。このような理由により実際に避難所運営に携わっている方から、避難所に真摯にみてみたいとお墨付をいただいた。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

-石原瞳、則松空、中村颯希、野上璃久-
 (早稲田佐賀高等学校)



Encouragement Award -奨励賞-

ララ姫 -田邊里彩、田村舞香、小林遥香-
 (広島女学院高等学校)



<p>プラン名 眠りのくまさん チーム名 ララ姫 メンバー 田邊里彩、田村舞香、小林遥香</p> <p>行ったヒアリング ・ 塩田隆平様(日本光電株式会社) ・ 山本俊彦様(チェスト株式会社) ・ 塩原利博先生(広島大学獣医学部)様 ・ 子どものSAS患者とその家族 複数名</p> <p>課題 子どもたちがSAS検査の装置をつけることを嫌がる</p> <p>解決策 子どもたちが自分からつけたくなるようなパジャマ(SAS検査の器具付属)と遊び歌を作ろう!</p>	<p>プランの概要 ベルソナ: ・ 小児のSAS患者 ○ 検査器具の付け心地が不快 ○ 気になってしまって眠れない ・ その家族 ○ 子どもが嫌がるのがかわいそう ○ 検査器具をつけるまでが大変 ○ 中々寝付かない</p> <p>提案: 子どもたちが自分からやりたい検査へ ・ SAS検査に使われる器具が動物の耳や指人形、おヒゲなど動物モチーフのパジャマを用意 ・ パジャマを着用するための映像音源である「眠りのくまさん」を流しながら子どもたちに楽しく着用してもらおう ⇒ 親子が安心して検査を受けられる!</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

i-GIP KYUSHU

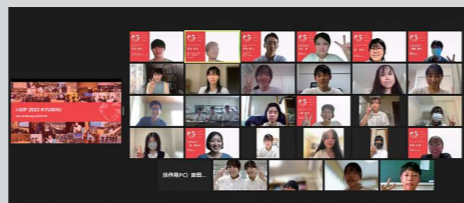
教育プログラム (敬称略、肩書はプログラム開催日時点)

7/2

● Kick Off Meeting

概要

i-GIPの活動が始まるにあたり、課題解決に欠かせないヒアリングを実践的に学ぶ日



ゲスト

福本 和生 : 徳島大学 医学部医学科 6年 / i-GIP 2021 TOKUSHIMA PL
比江嶋 啓至 : 久留米大学病院 睡眠医療外来 外来医長
田中 敦史 : 佐賀大学 医学部 循環器内科 特任教授
志田 大輔 : 株式会社ヤマックス 営業部長
神原 彰太 : 総合医療サービス株式会社

7/16

● Discussion Day

概要

課題解決の方法のデザイン思考を学ぶ日

ゲスト

倉田 博之 : 九州工業大学 大学院 情報工学研究院 教授

7/30

● Mentoring Day

概要

今の課題解決策に、様々な専門性を持つ方々より意見をもらう日

ゲスト

山口 祐司 : 福岡浦添クリニック 院長
川崎 昭子 : 社会医療法人春回会 井上病院 臨床検査科 主任
寺本 将行 : 一般社団法人 inochi未来プロジェクト理事 / inochi WAKAZO Project 創設者
相良 壮馬 : 大阪大学 医学部医学科 4年 / i-GIP 2020 KANSAI PL
太田 慎一 : 株式会社 WEIN Group / 株式会社BACKSTAGE 社長室

8/6

● Implement Day

概要

i-GIP の修了生と起業家から、社会実装の経験を聞き、イメージを膨らませる日

ゲスト

inochi x together (i-GIP 2022 KANSAI 第1位): 藤田 さら、花咲 恵、原田 優来、高橋 千帆美
各務 康貴 : 株式会社DRIPS 代表取締役CEO

8/20

● Presentation Day 1

概要

人に伝わるプレゼンテーションの方法を学ぶ日

ゲスト

矢野 香 : 長崎大学 准教授



8/21
8/22

● 先端技術見学

概要

最新の医工連携研究と試作現場を見学する日

場所

九州大学大学院 総合理工学研究院 エネルギー科学部門 吉武研究室
福岡大学 工学部 ものづくりセンター

8/27

● Presentation Day 2

概要

プレゼンを実践し、アドバイスをもらう日

ゲスト

内村 直尚 : 久留米大学 学長 / 日本睡眠学会 理事長
松村 真宏 : 大阪大学 大学院 経済学研究科 経営学系専攻 教授



9/24

● 合同 Pitch Day

概要

審査員から解決策の実現への意見をもらう日
i-GIP KANTO の中高生とフィードバックしあう日

ゲスト

平尾 彰浩 : 株式会社Surg storage 代表取締役社長
小賀 徹 : 川崎医科大学 呼吸器内科学 主任教授
相良 壮馬 : 大阪大学 医学部医学科 4年 / i-GIP 2020 KANSAI PL



10/22

● KYUSHU Gakusei SAS Forum

審査員

内村 直尚 : 久留米大学 学長 / 日本睡眠学会 理事長
田村 彰 : へつぎ診療所 循環器内科 睡眠時無呼吸センター長
鮎澤 純子 : 九州大学病院 病院長補佐 ARO次世代医療センター 特任准教授
平尾 彰浩 : 株式会社 Surg storage 代表取締役社長
熊丸 憲男 : 福岡大学工学部 ものづくりセンター 准教授

来賓

妹背 正雄 : 三菱みらい育成財団 常任理事



i-GIP beyond

i-GIP beyondとは inochi Gakusei Innovators' Program で生まれたアイデアの社会実装を支援するinochi の内部組織です。今年度は、「ファミハグ」「腰痛の飛び出す教科書」「めでいクル」を紹介します。



ファミハグとは

inochi Gakusei Innovators' Program 2021 TOKUSHIMA で優勝した「産前産後の子育て情報を楽しく学べるカードゲーム」を開発しているファミハグです。

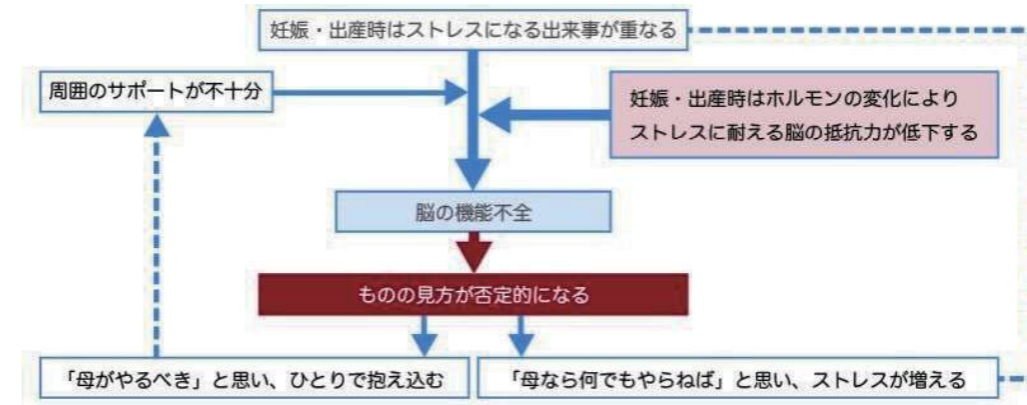
ファミハグは、「教育から、誰もが健やかに暮らせる居場所をつくること。」を理念として掲げ、子育てに関するトラブルに対し、母親一人ではなく、パートナー・行政・医療・民間と一緒に解決していくことを人々に伝えていく団体です。

プロダクト説明

妊娠から産後1年までの子育てイベント(トラブル、出産、育児休暇等)の発生時に、誰にどのように頼るのかを選択していきながら、社会的なサポートを得て、子どもを1歳まで育てていくカードゲームになっています。現役のお母さん、お父さんから子育て中に周りのサポートが必要だった出来事と、その時のサポート先を調査して作成しました。

活動の経緯

現在、産後うつの有病率は日本人を対象としてメタアナリシスで明らかになっています。Prevalence of perinatal depression among Japanese women: a meta-analysisによると、日本人女性10万8,431例中、1カ月時点での産後うつ病の有病率は14.3%であったとされています。この原因として、以下のメカニズムが厚生労働省より発表されており、産後うつは、「母がやるべき」と思い、ひとりで抱え込むこと、「母なら何でもやらねば」と思い、ストレスが増えることによって起こるとされています。



また、日本産婦人科学会も妊産婦は自分からケアを求めないことが多いとしている。この課題に対して、私たちファミハグは、遊びながら周囲の人に頼りながら子育てをする方法を学び、「周りと一緒に子育てをしていく」認知を育む独自のカードゲームを開発しました。そして、そのボードゲームを用いた授業を行うことで、産後うつの発症を予防をするという取り組みをはじめます。

活動実績

- ・徳島県立徳島市立高校
- ・淡路島洲本市市役所産前教室2回
- ・徳島県100人のお産展



夫婦で実施していただいた様子

メンバー紹介



徳島大学医学部5年 中井洸我



社会人デザイナー 中村こみち



東京藝術大学4年 小林光

今後の活動

自治体や企業との連携により、周りにサポートを求められないお母さんお父さんを減らしていきます。随時、産前産後教室を実施していただける団体様を募集しています。また、本プロダクトは、周囲の人に頼りながら子育てをする方法を学び、「周りと一緒に子育てをしていく」認知を育むカードゲームです。認知行動療法としての科学的価値を研究し、より良いプロダクトにしたいと考えています。

めでいクル

Medicine X Recycle

メンバー:藤田さら、花咲恵、原田優来、高橋千帆美

サポーター:木村龍雲

実績:inochi KANSAI Fourm2022 最優秀賞

inochi WAKAZO Fourm2022 優秀賞



課題

患者と医療者間で、服薬状況に関するコミュニケーションが十分に行われていないこと、複数の医師へヒアリングを行った結果から服薬していることを当たり前のこととしてしまっているということ、349名へのアンケートの結果から、約7割の人が服薬の不徹底を医師に伝えていないことが分かりました。服薬状況を確認しないと、患者さんにあった治療を行うことができません。

解決策「めでいクル」

患者と医療者間の服薬に関するコミュニケーションを生み出す

薬局に、患者さんの薬の空き容器の回収Boxである「めでいクル」を設置します。患者さんが2回目以降の診察の際に、薬の空き容器を薬局に持参し、めでいクルに入れることで、コミュニケーションのきっかけとなります。コミュニケーションが生まれれば、薬剤師が患者さんが服薬できていることを褒めることができ、服薬に関するアドバイスを行うことにも繋がります。また、空き容器を直接確認することにより患者の服薬状況を患者自身の言葉だけでなく、目視でも確認することができる。また、薬局でまとめて空き容器を回収することで正しく処理することができます。

目標

毎日、薬を忘れずに飲むことはかなり負担なことだと思いませんか。毎日継続的に薬を服用することが当たり前とされている今の状況を変えたいと、私たちは思いました。そこで患者さんがきちんとほめられるような状況を作りたいと思い、この解決策を考えました。服薬は誰にとっても他人事な話題ではないと思います。私たちはこの「めでいクル」を通して必ず全ての患者さんにとって今以上に服薬しやすい環境を作りたいです



展望

私たちは、i-GIP2022修了後、アインファーマシーズ様にご協力いただき、社会実装を行っています。今年度は、2回の実証実験をアイン薬局様にて行いました。今後の活動としては、実証実験としてではなく、継続的な設置を行う予定です。回収した空き容器のリサイクルルートの確保を行いたいと考えています。将来的には、全国の薬局で設置できるようにキット化することを目標としています。



2023の主な活動

4/28
アインファーマシーズ訪問

アインファーマシーズ様に訪問し、実装のお願いをしました。プレゼンを行い、実装にご協力いただけることになり、実証実験をアイン薬局様で行うことになりました。第1回実証実験は、アイン薬局十三駅前店行うことが決定しました。



6/9
ポスター設置

アイン薬局十三駅前店にめでいクルのポスターを設置させていただきました。同時に患者さん向けのチラシの配布も開始しました。設置開始前から、めでいクルの認知度を向上させ、設置期間までに薬の空き容器を自宅ですべて回収することが目的です。

7/7-8/25
第1回実証実験

第1回実証実験をアイン薬局十三駅前店で行いました。患者さん向けのアンケートも同時に設置しました。約1kgの薬の空き容器の回収を行うことが出来ました。今回の実証実験で得た、患者さん向けのアンケート、薬剤師向けのアンケート、感じた反省点をもとにめでいクルの改善を行います。



第2回実証実験をアイン薬局十三駅前店と1店舗増やし、西宮店で行いました。今回は、前回の反省点を踏まえて、アンケートおよびチラシに、めでいクルによって薬の空き容器を回収することでどうなるのかについて、書きました。また、めでいクル自体も少しカラフルにすることで存在感をだし、ポスター、アンケートの設置場所も工夫しました。



10/24-12/22
第2回実証実験

腰痛の飛び出す教科書

挨拶

自身が大学1年生のときに、腰痛で半年間痛み止め無しでは歩けなかった経験をしました。中学生の頃の疲労骨折が原因でした。ですが、誰も病院に行くなどの正しい知識を教えてはくれませんでした。僕のような経験をする人を少しでも減らしたい。そんな思いからこのプロジェクトはスタートしました。腰痛に会う子供たちへ。腰痛の飛び出す絵本に乗せて、徳島県から全国へ届けます。

メンバー紹介

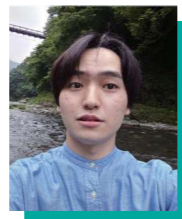
五嶋大暉



石原佑



佐藤ふみや

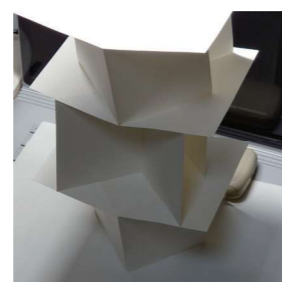


プロジェクトの概要

- 費用 31万6千円 クラウドファンディングで調達
- 冊数 200部
- 配る場所
 - ・徳島県内の、中学校、高等学校、児童館
 - ・ヒアリングでお世話になった病院
 - ・県外の医療機関、子供が集まる場所

プロジェクトの特徴

ただ、文字だけで伝えるのではなく、脊椎を浮かび上がらせることで読み手にインパクトを残します。これが興味を掻き立てるギミックになり、読み手にこの絵本の印象を強く残します。そして、実際に腰痛に困ったときの一步目の便りこの絵本になります。



作成中のプロトタイプ

プロジェクトのこれから

松下印刷様と、印刷を進めていきます。来年度、4月には徳島県内への絵本の配布が完了し、徳島の中学校、高等学校、児童館の元へこの絵本が届きます。

Forum Memorial



inochi Pharma Campaign Program

テーマ 中高生と考える、次世代の製薬産業のあり方
日時 2023.3.21(火・祝)
会場 室町三井ホール&カンファレンス / Zoom (配信) / 関西・九州サテライト会場

実施概要

日本製薬工業協会(製薬協)、inochi WAKAZO Projectと合同で開催いたしました。私たち若者から、製薬企業73社が加盟する製薬協の方々へ直接、お話を伺い、さらに最新の製薬とAIについて学ぶことで、ヘルスケアと密接に関わる製薬業界への理解を深めました。

Program

第1部 Keynote Speech

ニュースでもご活躍中の日本を代表する研究者の池谷先生より、神経疾患と創薬についてお話をいただきました。また、石山先生からはAIを使った次世代の創薬についてこれまでAIがどのように創薬を変えて今後どのような展望があるのかお伺いしました。



Speaker (敬称略)

- 池谷 裕二 東京大学 薬学部 教授
- 石山 洸 株式会社エクサウィザーズ 代表取締役社長

第2部 Panel Discussion

製薬産業に関する未来への質問やテーマを中高生・大学生から募り、講演していただいた先生方や、製薬協で働かれている現役の役員の方々とのパネルディスカッションを展開しました。ここだけでしか聞けない企業の取り組みや、ここでしか学べない視座を先生方から学びました。



Panelist (敬称略)

- 手代木 功 塩野義製薬株式会社 代表取締役会長 兼 社長
- 森 和彦 日本製薬工業協会 専務理事
- 池谷 裕二 東京大学薬学部 教授
- 石山 洸 株式会社エクサウィザーズ 代表取締役社長

第3部 Q&A session

講演会やパネルディスカッションを経たうえで、製薬や創薬にまつわるさまざまな質問を大人の方々に投げかけ、明日の未来を考える交流会を実施しました。将来のロールモデルとなる最前線の企業人たちとの交流が体験できました。



WKC Forum 2023

テーマ ~Build the world we want; A healthy future for all~ 地球的視野に立ち、健康を考える
日時 10月1日(日) 13:00-16:10
会場 WHO健康開発総合研究センター (WHO神戸センター) / Zoom

Program (登壇者は敬称略、肩書は10/1時点)



opening

サラ・レイズ・バーバー WHO神戸センター所長
茅野 龍馬 WHO神戸センター医官

Keynote Speech

テーマ: Health Beyond Borders ~データで読み解くグローバルヘルス~
野村周平 慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室 特任准教授

Break Out Session

テーマ: Our Planet, Our Health ~地球的視野に立ち、健康を捉える~
10の分科会にて、プレゼンテーションおよびディスカッションを行いました。

Panel Discussion

テーマ: 「Empowering Youth Voices: Building a healthier future for all ~私たちで未来の健康を創造しよう~」

- 川崎 良 大阪大学 大学院 医学研究科 社会医学講座 公衆衛生学 教授
- 近藤 尚己 京都大学 大学院 医学研究科 社会疫学分野 主任教授
- 野村 周平 慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室 特任准教授
- 平松 伶彩 京都府立医科大学 医学部 医学科 5年
- 黒田 和花 神戸市看護大学 看護学部 4年



Handover Ceremony

サマースクールに関わった全員で考えた健康の未来の姿をまとめた提言書をグローバルリーダーに届けました。

closing

山下 輝夫 兵庫県保健医療部長
茅野 龍馬 WHO神戸センター医官



野村先生のキーノートスピーチでの「低所得国での死因は、本当に私たちの想像通りなのだろうか」と考えるきっかけから、パネルディスカッションでの「健康の未来」について教育という観点が変わることで非常に興味深い議論が展開されていきました。また、分科会は視聴者参加型で行われ、プレゼンをもとにテーマについて考え、参加者自らが自身の考えや体験を発信する場となりました。地球規模の健康問題に触れ、考える一日となったのではないのでしょうか。

WAKAZOとは

WAKAZOについて

WAKAZOは、医療系学生を中心とした150名以上からなる次世代イノベーター集団「inochi WAKAZO Project」が行っているプロジェクトの一つです。(inochi WAKAZO Project は、中高生課題解決プログラム「inochi Gakusei Innovator's Program(i-GIP)」と「WAKAZO」の、2つのプロジェクトに分かれています。)

医学生を中心としたメンバーで、「誰かのいのちのために自分のいのちを大切に作る未来社会づくり」を行っています。

WAKAZOのミッション

誰もがいのちを守り合う、新たな未来を創造する

今年度の活動人数：26人

メンバーの所属大学(一部)：東京大学医学部、東京医科歯科大学歯学部、同志社大学文化情報学部、立命館大学政策科学部、日本大学医学部、北里大学医学部、福島県立医科大学医学部、久留米工業高等専門学校 他多数



WAKAZO

Main Project inochi のペイフォワード

研究室と共創しながら、Osaka Great Santa Run でデータを扱う実証実験を行っています。

inochi のペイフォワード 実証実験

データのドネーションを体験してもらうため、アプリとドネーションボックスを開発しています。

大阪・関西万博への展開 LAST WORDS

「死」を通して自分の「いのち」を見つめるために、死ぬ前に残したい言葉を対話を通して集めています。



ペイフォワードとは、恩送りという意味です。誰かから受け取った「あたたかさ」を、本人ではなく、また違う誰かへと贈る。こうすることで、「あたたかさ」から始まる循環型の世界が生まれていきます。誰も取得可能なヘルスケアデータを用いることで、医療でこの循環を生み出すことができます。WAKAZOは、若者だからこそ、医療という枠組みをどんどん超えて、未来の医療・ヘルスケアを「あたたかさ」で満たしていきます。大阪・関西万博では歴史に残る1ページを様々な分野の仲間とともに描いていきます。

WAKAZO代表

東京医科歯科大学歯学部歯学科 松井 瞳

WAKAZOの歩みとこれから

- 2016** ● 「2025大阪万博誘致若者100の提言書」を松井元大阪府知事に提出
- 2017** ● 若者の力で大阪万博誘致の実現を目指す団体として、「WAKAZO」が本格始動
- 2018** ● BIE総会で日本代表団の一員として、WAKAZOメンバーが万博招致プレゼン 大阪・関西への万博誘致が決定
- 2019** ● 「万博のインパクトを生かした大阪の将来に向けたビジョン有識者ワーキンググループ」有識者委員として、「ウェルビーイング中心社会/万博」を提言
- 2020** ● inochi未来フォーラム(現:inochi WAKAZO Forum)にて、宮田裕章先生、石黒浩先生、博覧会協会副事務総長の森清様などをお招きし、「inochiのペイフォワード」の構想を発表
- 2021** ● 「inochi未来・WAKAZO適塾」全8回が終了
海外の若者との共創を開始「WAKAZO Grobal Discussion Event」(2021年11月)
「inochiのペイフォワードプロジェクト」第一回実証実験(2021年12月)
- 2022** ● 「WAKAZO PLL Talks」シリーズスタート
「inochiのペイフォワードプロジェクト」第二回実証実験(2022年11月)
「inochiのペイフォワード」がPM Award 2022優秀プロジェクト賞を受賞
- 2023** ● 「inochiのペイフォワード」が大学SDGs ACTION! AWARDS 2023にて
選考委員特別賞を受賞
QWSチャレンジ16期採択
「inochiのペイフォワードプロジェクト」第三回実証実験(2023年11月)



BIE来日時プレゼン



万博誘致 成功の瞬間

万博若者会議

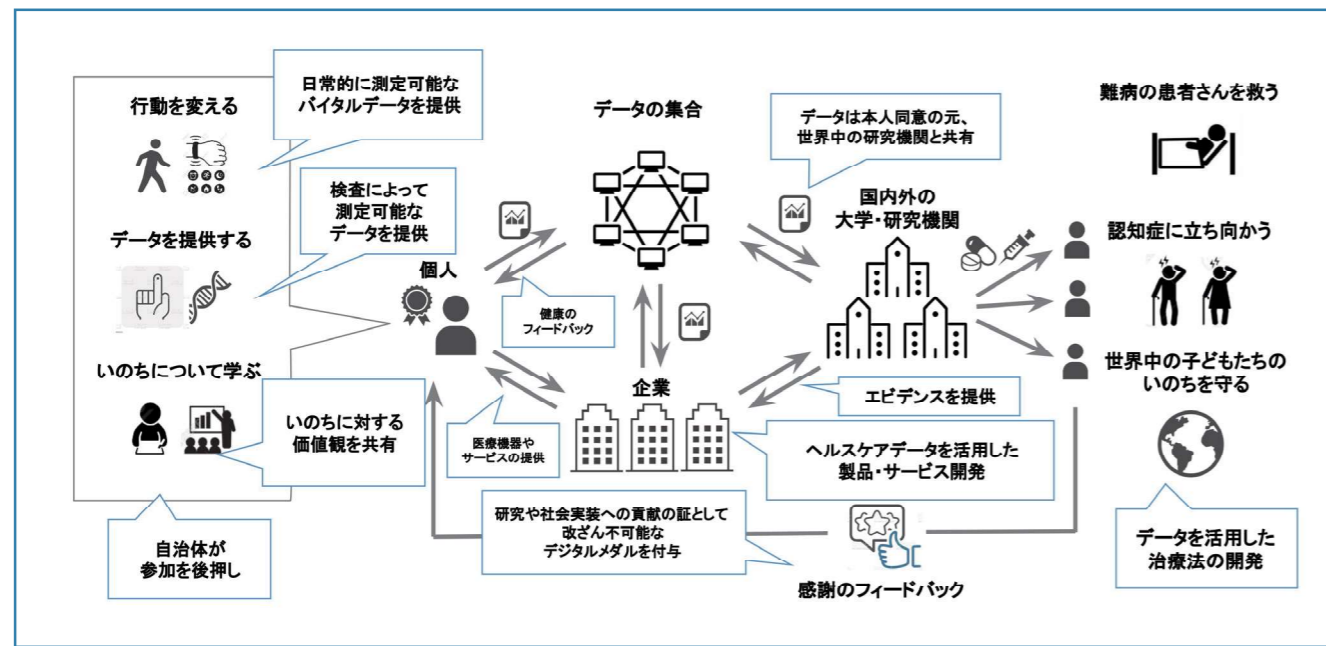
- 2025** ● **大阪・関西万博**
「inochiのペイフォワード」によっていのちを守りあう未来を、WAKAZOは実現します。

「inochiのペイフォワード」プロジェクト

inochiのペイフォワードプロジェクトとは

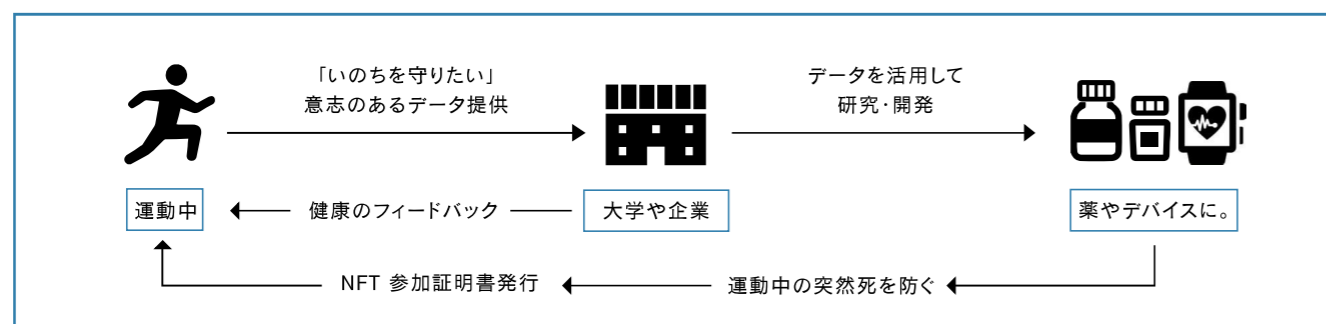
inochiのペイフォワードとは、献血のように自分のヘルスケアデータを誰かのために提供することで、直接的に救われるいのちに加え、データ共有の積み重ねによる技術革新によって、社会全体のいのちが守り合われるような未来社会を実現するためのデザインです。現在、医療分野ではまだまだデータの利活用が進んでいない現状があります。特に私たちは日常で取れるリアルワールドデータに注目し、ランニングの実証実験を行いながら、誰もがいのちを守り合う新たな未来を目指しています。

あなたのデータが、誰かのいのちのちからになり。



inochiのペイフォワード 未来図

inochiのペイフォワードの例



2023登壇記録

WAKAZOでは、2025年大阪・関西万博とその未来で実現したいことについて、登壇を通して社会へ発信しています。

3/8 大学SDGs ACTION! AWARDS 2023



inochiのペイフォワードが選考委員特別賞を受賞しました。松井瞳、中本好乃、木島優美、飯塚遼馬が参加し、誰かのいのちを守りたいという思いのもと自身の健康に関するデータを提供してもらうことで、社会全体でいのちを守りあう社会をつくっていくというWAKAZOのプロジェクトを伝えました。



5/21 いばらき×立命館DAY 2023 OIC EXPO



WAKAZOのプロジェクトであるLAST WORDSのブースを出展させていただきました。LAST WORDSは、いのちをみつめるきっかけを届けるために行っているプロジェクトです。当日は、7歳から90歳まで様々な年代の方々に自分が思う『死ぬ前に残したいことば』を自由に書いていただきました。

10/23 Asia Week 2023 立命館アジアとつながる国際交流フェスタ

万博シンポジウムにて、WAKAZOの飯塚遼馬と川村美妃が登壇しました。当日は約8000人の市民の方々にお越しいただきました。パネルディスカッションでは、a-tuneの吉川様、T×SDGsの植田様、V-Stationの堤様 WAKAZOの飯塚と川村が参加しました。LAST WORDSを切り口として、どのように若者が万博に向かっていのちの輝きを創っていくかについて議論を交わしました。



2023イベント実施記録

8/20

inochi Mirai Pre-summit

全国のi-GIP参加の中高生とUWC ISAK JAPANの学生、合わせて約100人が参加。澤先生、ウスビ・サコ様、山邊鈴様、川村美妃さんによるパネルディスカッションと414カードを用いたワークショップを行いました。



9/10

LAST WORDS ワークショップ#1

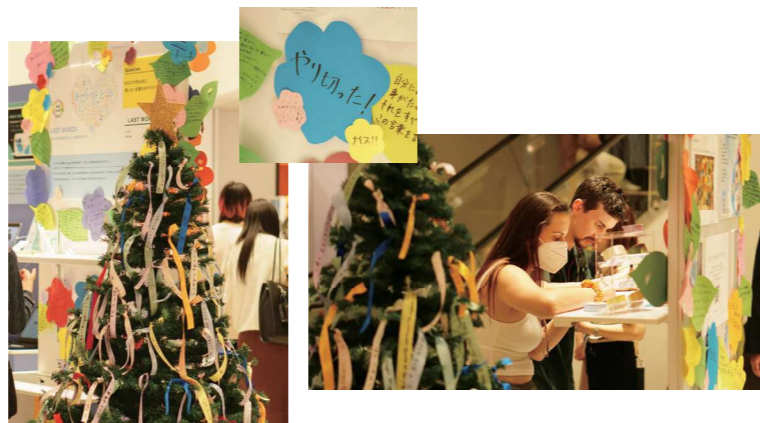
SHIBUYA QWSにて、『死生観から問う私たちの在り方について～LAST WORDSワークショップ』を初開催しました。様々な年代の約60人が参加し、414カードを用いた対話やいのちの木の作成を行いました。



10/6,7

QWS CROSS STAGE

渋谷スクランブルスクエアで開催されたQWS CROSS STAGEブースに出展しました。来場者にはLAST WORDSをリボンに書き、高さ約2mのツリーに結んでいただきました。5歳から高齢者まで幅広い世代、さらに約20か国に及ぶ言語のリボンがツリーを彩りました。



10/15

LAST WORDS ワークショップ#2

SHIBUYA QWSにて、『死生観から問う私たちの在り方について～LAST WORDSワークショップ』の第2弾を開催しました。ライブチャートを用いて、参加者と一緒にLAST WORDSを考えました。



「inochiのペイフォワード」実証実験2023

Great Santa Run 2023

Great Santa Run 2023において、「inochiのペイフォワード実証ブース」を設置し、サンタランの会場参加者を対象として、今年で3年目となるinochiのペイフォワードの実証実験を行いました。今年、心拍センサーを装着しランニングを行いました。



実施概要

【東京】

日時:2023年11月19日(日)
会場:代々木公園イベント広場

【大阪】

日時:2023年11月26日(日)
会場:大阪城公園

協力

【協力】Tokyo Great Santa Run 2023、Osaka Great Santa Run 2023
【実験協力】大阪大学大学院 医学系研究科 スポーツ医学教室

DONATION BOX

2023年、WAKAZOIはデータドネーションを実際に体験することができるDONATION BOX(ドネーションボックス)を作成しました。「inochiのペイフォワード」は、誰かのためという思いを持って行うデータドネーションですが、ヘルスケアデータは手で触れたり、目で見たりできないためイメージが持ちにくく、データを寄付したという実感を持ちにくい。そのため、Donation Boxは、実際に寄付した体験価値を高め、データ寄付への関心を高めることを目的としています。

Great Santa Run 2023では、参加者に自身のヘルスケアデータをドネーションするための同意をして貰い、そのドネーションに合わせて光るBOXを作成しました。これを用いて、自身のヘルスケアデータの大切さとドネーションの面白さを体験できるような実験を行いました。



個人のお客さま限定

りそなグループアプリ



700万
突破!
ダウンロード数

いつでもどこでも
スマホがあなたの銀行に

口座残高や入出金の確認はもちろん
振込をはじめとする様々なお取引がスマホで完結

安心安全セキュリティ

パスコードロック
生体認証

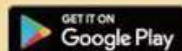
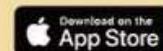
セキュリティ
パスワード

カードロック



りそなグループアプリ

ダウンロードはこちらから



アプリ開発: チームラボ



キャンペーンやアップデート情報など配信中!

りそなグループアプリ【公式】

検索



「残高どうなってる?」
そんな時はその場ですぐチェック!

残高確認



「あっ!明日は引き落としの日だ」
出金予定を事前にお知らせ

引落予定通知・実績通知



「振込しなきゃ...」
移動中でも即完了

振込

【りそなグループアプリに関するご注意事項】●りそな銀行、埼玉りそな銀行、関西みらい銀行のキャッシュカードをお持ちの個人のお客さまがご利用いただけます。事業用口座にはご利用いただけません。●マイゲート(インターネットバンキング)のメイン口座にてご利用いただけます。またスマートフォン1端末につきりそな銀行、埼玉りそな銀行、関西みらい銀行の普通預金1口座のみご利用いただけます。●詳しくは各社ホームページ等をご確認ください。

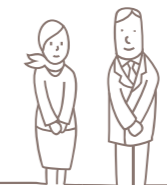
土日祝の相談は、



セブンデイズプラザ

プロの目線でアドバイス

「普段は気づかないムダを省き、家計の見直しをしたい」
「浮いたお金は、将来に備えてしっかりと貯蓄したい」
セブンデイズプラザでは、経験豊富な専任スタッフが
お客さまそれぞれの状況をじっくりお聞きし、
最適なアドバイスをさせていただきます。



詳しくは
こちらから



保険

投資信託

住宅ローン

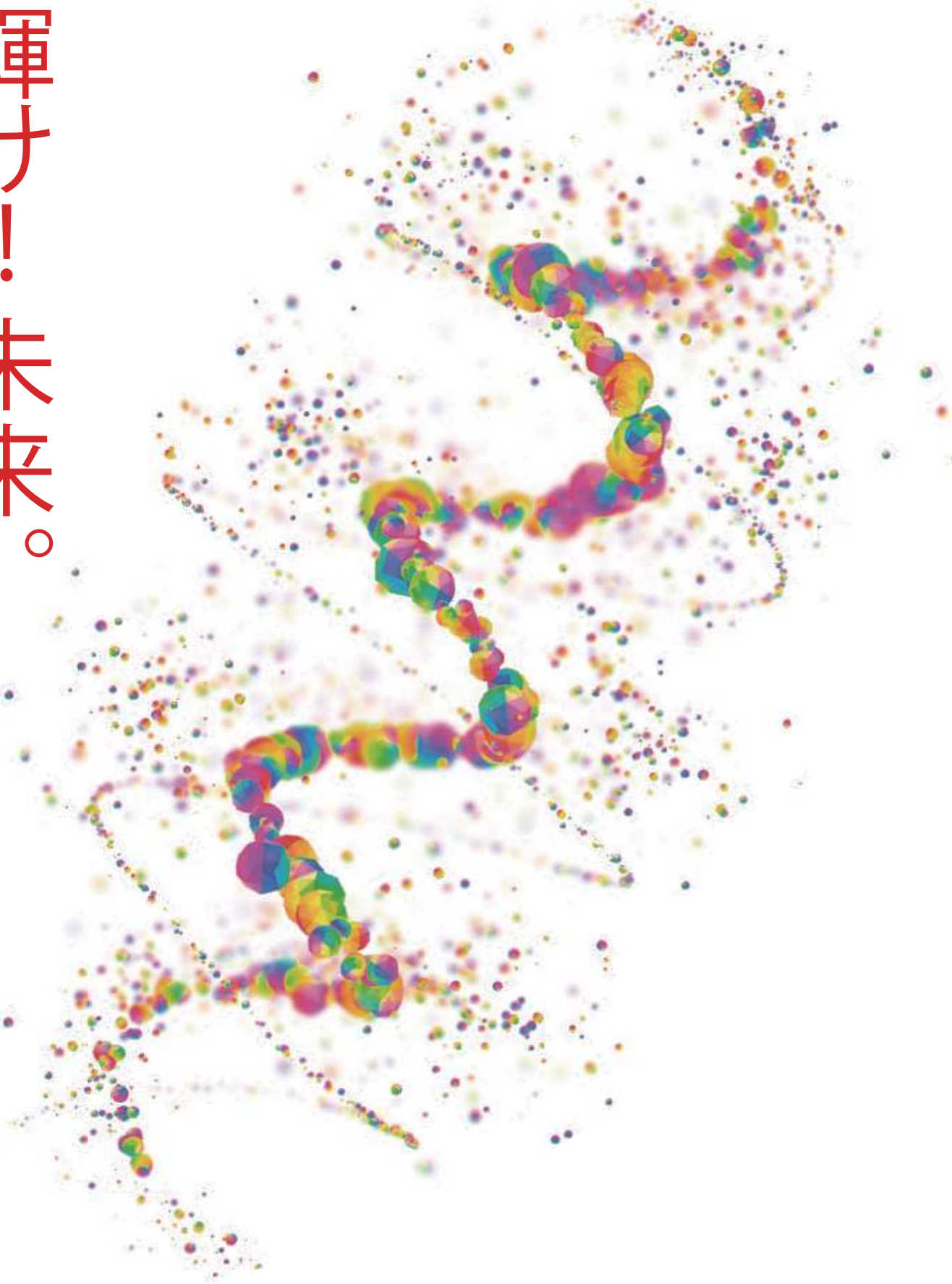
相続・遺言

iDeCo(個人型確定拠出年金)

NISA

ゆっくりご相談いただくため、「予約制」とさせていただきます。ご予約はWebサイト、またはりそな銀行各支店店頭にて。

輝け！未来。



一般財団法人
三菱みらい育成財団

www.mmfe.or.jp

ワオ・コーポレーションは WAKAZOへの支援をとおして 大阪・関西万博を応援していきます。

塾部門の会員5万人と全県の大学生に、万博情報を発信。YouTubeチャンネル(登録者280万人・200以上の国と地域)と全県拠点を活用し、大阪・関西万博の魅力を世界に発信していきます。

この写真はAdobe社が提供する生成AI「FireFly」によって作成されたものです

【社会を変えるIT・DX人材を育てる】



B BeEngineer Online

DeMiA&WAOTECHが協業で提供する
オンラインプログラミング学習

この度、「BeEngineerOnline」という新しいオンラインプログラミング学習サイトをリリースしました。映像授業によるインプットと、自分の手でコーディングするアウトプットを通して、実践的なプログラミングを学習できます。

【会員登録方法】

まずはBeEngineerOnlineの会員登録ページにアクセスしてみましょう！



「教育を変える」

創立50周年に向けての新たな取り組み

IT技術の革新、日本の国力低迷など、私たちを取り巻く社会情勢は目まぐるしく変化を続けています。

社会が変われば教育も変わらなければならない。

WAOTECH(ワオテック)では、これから必要になるIT教育を大学生のみなさんに無償で提供していくなど、新たな学びを後押しします。

私たちワオ・コーポレーションは民間教育に携わる企業として、子どもや若者たちが未来を力強く生き抜ける力を育てていきます。

哲学を学ぶオンライン
ハイスクール

ワオ高等学校

新しい5教科で
未来を生き抜く力

ワオ未来塾

WAO! 教育を変える
ワオ・コーポレーション

【大阪本社】
大阪市北区中崎西1-5-14 WAOビル / TEL.06-6377-7971
【東京本社】
東京都千代田区麹町4-4-7 アトム麹町タワー 7F / TEL.03-5215-2141

当社は全県で学習塾「能開センター」「個別指導Axis」を運営し、オンライン学習サービス「Axisのオンライン家庭教師」を提供。知育アプリ「ワオっち!」の配信、アニメ「とんがり頭のごん太」の制作など、子どもたちの未来をつくる多彩な事業をおこなっています。

民間からの教育改革に熱い思いをもつ、若い人の参画を期待しています。

〈詳しくはコーポレートサイトの採用ページをご覧ください〉



LINK-Jはライフサイエンス分野に従事する方のための 人と情報の交流プラットフォーム



LINK-J（一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン）は、再生医療・個別化医療・創薬・医療機器・ヘルスケアITをはじめ、予防・未病・健康長寿など広義のライフサイエンス研究・産業に関わる世界の人々の交流の場を創造し、人々の健康に貢献する製品やサービスを創出し続けるプラットフォームの構築を目的としています。

交流・連携



ネットワーキングによる交流



大規模シンポジウムの開催

育成・支援



事業化支援プログラム



ベンチャー企業支援

一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番9号日本橋アイティビル2階

TEL 03-3241-4911 FAX 03-3241-3757（月～金 9:00-17:00） www.link-j.org



あしたの感染症と、 たたかっている。

感染症がこの世からなくなることはない。
パンデミックも、きっとまた起こる。
だからこそ、SHIONOGIは逃げずに向き合い続けます。
その時私たちの創るワクチンが、治療薬が、
強く、強く、ひとつでも多くのいのちを守れるように。

薬ができることの、その先へ。



2022.7A42



東和薬品は、変わります。
これまでのジェネリック医薬品への取り組みに加え、
あなたが健康を守り、維持しやすくするために必要な
新たな製品やサービスを創り出します。

東和薬品は、変わりません。
飲みやすさや扱いやすさ、そして品質にこだわる
ジェネリック医薬品のように、
あなたの健康への願いに寄り添う製品やサービスを
より多くの方々にお届けしつづけます。

変化する毎日の中で、変わらない健康への想いに
まっすぐ向き合い、さまざまなカタチでお応えしていく。東和薬品は、約束します。

東和薬品のさまざまな取り組み

対話支援機器で 聴こえやすさをサポート	服薬支援アプリで 適切な服薬をサポート
ニガみをコーティングし お子さまにも飲みやすいお薬に	独自のRACTAB技術で 飲みやすいお薬に

こころの笑顔を、すべてのひとに。あしたの健康を、あなたのものに。



自然に還る歯ブラシ
turalist
100% プラスチックフリー

Nhes.

日本製

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

三井住友海上は、安心と安全の提供を通じて、
持続可能な社会の実現に取り組みます

SDGsで 未来を照らす

社会課題の解決に向けたSDGs取組

地球環境との 共生	革新的 テクノロジー	強靱性・回復力	包摂的 社会
<ul style="list-style-type: none"> 7 再生可能エネルギー 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動への対応 14 海洋資源の持続可能な開発 15 陸域生態系の持続可能な開発 	<ul style="list-style-type: none"> 9 産業・サービスの革新 10 人や国の不平等性の削減 11 持続可能な都市とコミュニティ 17 パートナーシップによる実現 	<ul style="list-style-type: none"> 3 健康とウェルビーイング 5 性別平等 8 働きがいと経済成長 10 人や国の不平等性の削減 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動への対応 14 海洋資源の持続可能な開発 15 陸域生態系の持続可能な開発 	<ul style="list-style-type: none"> 3 健康とウェルビーイング 5 性別平等 8 働きがいと経済成長 10 人や国の不平等性の削減 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動への対応 14 海洋資源の持続可能な開発 15 陸域生態系の持続可能な開発

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上は、レジリエントでサステナブルな社会*をめざします。
*外部環境にシナジーが対応する、持続可能な社会



CREATE CUTTING EDGE FOR STARTUPS

- 起業・経営相談
- ビジネスマッチング
- コワーキングスペース
- イベント開催

研究開発型ベンチャー&起業家のためのワンストップ支援拠点

Kawasaki-NEDO Innovation Center

Kawasaki-NEDO Innovation Center(K-NIC)は

研究シーズを用いて新事業に挑戦する方を
ワンストップで発掘・支援する起業支援拠点です。



〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー5階
TEL:044-201-7020(営業時間:平日10時~18時 ※最終受付17時)

WEBサイトはこちらから▼



そのひらめき、すぐ研究。
ターンキーラボ健都

すぐにP2/BSL2の実験ができる
レンタルラボが大阪でオープン!

機器付レンタルラボ「ターンキーラボ健都」とは
基本的な設備や実験機器が整えられており、
ラボマネージャーが常駐するP2/BSL2対応のレンタルラボが
大阪・健都にオープンしました。

研究者・起業家のラボに関するこんなお悩み解決!
「研究環境を整える初期投資が高額だ」
「事業の方向性が定まるまでは身軽でいたい」
「研究者の人材確保に苦戦中」

研究を加速させる3つの特長

- P2/BSL2対応の機器付ラボ
初期投資をおさえ、すぐに研究を開始
- 時間単位でレンタル
ラボ管理不要
研究に専念できる環境をお得に、フレキシブルに
- 国研や企業が集積する
都心近郊立地
共同研究や交流を促進
採用にも効果的

詳細情報はWebサイトをご覧ください →
設備機器や価格例等をご覧ください



お問合せ先: 京都リサーチパーク株式会社 新事業開発部 tk1@ml.krp.co.jp

KYOTO RESEARCH PARK ーイノベーションが生まれる「まち」ー

京都で大型ラボ・オフィスの新拠点構想

企業の事業戦略・中期計画・立地戦略を考える経営者・経営企画部の方へ。
京都リサーチパークで新たな大規模拠点を検討してみませんか?

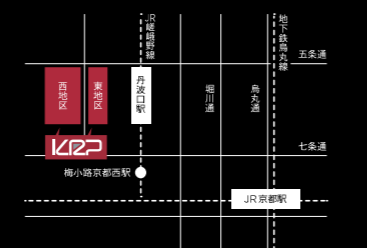


- 1,000~10,000㎡のニーズに対応
- 充実の共用部
- 主要通りである五条通り沿いの好立地

京都リサーチパーク地区内で、
1,000~10,000㎡規模の建物利用に
ご興味のある企業様と意見交換を承っております。
お気軽に下記問い合わせ先までご連絡下さい。

CONTACT TEL:075-315-9940 Mail:shintou@krp.co.jp

京都駅から2駅(5分)の一大ビジネス拠点



KRP KYOTO RESEARCH PARK
https://www.krp.co.jp/



Laboratory & Office Spaces

HVC KYOTO Healthcare Venture Conference KYOTO

一海外展開を目指すヘルスケア領域のスタートアップと事業会社のイノベーションプラットフォーム
国内最大級のヘルスケア領域に特化した全編英語によるピッチ、
スタートアップとHVCパートナーとの個別商談がある他、通年で相互の接点機会を提供します。

JETRO・京都府・京都市・京都リサーチパーク(株)が京都大学等と連携し2016年から実施。海外展開を目指す当該領域のスタートアップや起業志向の高い研究者、およびオープンイノベーションに積極的な事業会社・投資家・インキュベーター等が集まる「イノベーションプラットフォーム」です。デモ데이で開催するスタートアップピッチは全て英語で行い、京都から世界へ羽ばたく登竜門となっています。これまでの採択スタートアップの登壇後資金調達額は、累積333億円超(公開情報・国内企業限り)、大型事業提携・J-startup選定・AMED事業採択など、過去登壇者は目覚ましい活躍をされています。

2023年3月
特許庁選定「IP BASE AWARD」
エコシステム部門
奨励賞 受賞

2023年9月
サイエンスパーク国際組TASP選定
「TASPイノベーション・ソリューション・プログラム」
ソリューション・プログラム
世界3位 受賞

【パートナー企業】

Asiatic

Waki AppTec

JTEKT

CMIC

Roehringer Ingelheim

BD

【VC / Support Organizations】

AN

iCON Biotech

KYOTO-iCAP

KII

TMI

TOMY LAND CORPORATION



HVC公式サイト
HVC KYOTO 2024の登壇者募集は2023年12月以降開始(予定)
パートナー参画のお問い合わせは随時受け付けています。

JETRO 京都府 京都市 KRP

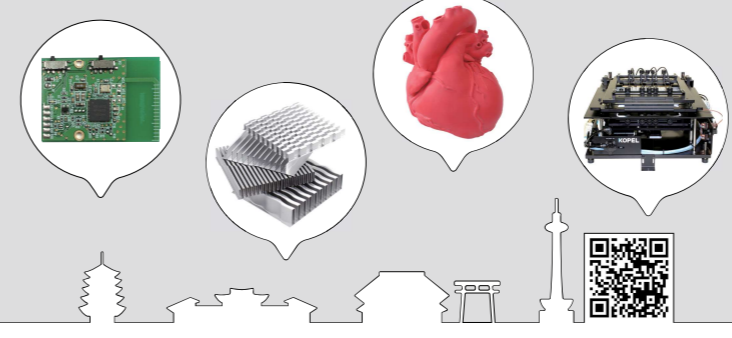
shisaku 試作を通じて、事を成す

私たち京都試作ネットは「顧客の思いを素早く形に変える」という

コンセプトの元に、京都府下の企業が集結した「プロのものづくり集団」です。

目まぐるしく変化を続ける世界経済の中で、お客様の様々な声を聞き、

「試作」というものづくりを通じて、社会への課題解決・貢献を目指します。



一般社団法人 京都試作ネット
〒600-8202 京都府下京区中堂寺南町 京都リサーチパーク 英進館



なりたい自分に
なるために
英進館は、学習指導を通して
お子様の将来の可能性を広げます。

四谷大塚進学教室提携塾

英進館

お問い合わせ・お申し込み・資料請求はこちら▼
WEB 英進館 検索
お問い合わせセンター ☎0120-509-044



私たちにとって、地域社会は
かけがえのないパートナーです。

Coca-Cola BOTTLERS JAPAN INC. コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
<コカ・コーラ指定会社>

Coca-Colaとコカ・コーラは、The Coca-Cola Companyの登録商標です。 https://www.ccbji.co.jp/



医療に進化を 患者さんにより良い人生を
医療の最前線で力を尽くす人々と、世界のパートナーとともに
テルモは100年の品質と技術を基盤に、患者さんのかけがえない人生を支えていく。

さあ、ともに医療の未来へ



テルモ株式会社 www.terumo.co.jp
テルモは世界160以上の国や地域の医療を支えています。

人とエネルギーの未来のために

エネゲートは、DX 関連技術の開発を加速させ、人と社会の未来に役立つ製品・サービスを提供致します。



「健康寿命の延びる沿線」実現に向けて

私たちは、健康や介護に関するサービス、アプリの提供、情報発信や、産官学民の多様なステークホルダーが参加する「メディカル・ヘルスケア リビングラボ」の取組をつうじて、沿線にお住まいの皆様の健康寿命延伸に貢献します。

健康の自己管理、みまもりをサポートする2つのアプリのご紹介



阪急阪神ホールディングス株式会社 阪急阪神不動産株式会社

DESIGN

Kosuke Okuno
Kyota Kai
Shihori Kawano
Futaba Sakamoto
Moeko Shiina
Ayana Shinomiya
Mayuu Nakai
Takashi Yoshida

あなたのご支援で inochi 輝く未来社会の 実現へ

一般社団法人 inochi 未来プロジェクトは、「みんなで inochi の大切さと未来について考え、行動するプロジェクト」。「inochi のひとつくり・ものづくり・まちづくり」の3つを提唱し、2025 年大阪関西万博を通して世界へと発信することで、50 年、100 年後の未来社会がより良いものとなるよう活動しています。

私達の活動は、皆様からの暖かいご支援により支えられ、ここまで大きく成長して参りました。

inochi WAKAZO 会員になる

私達の活動を継続的に支援して下さる方への会員制度です。

※お支払いは各種クレジットカード対応。一年ごとの自動更新となります

学生	¥ 3,000 / 年
社会人	¥ 10,000 / 年

RETURN ささやかな御礼の表明

- プロジェクト優先観覧権利・限定イベントの案内などを毎年お送りいたします
- 私達の活動・取り組みについてのメールでお知らせいたします
- アニュアルレポートにお名前を記載いたします
- アニュアルレポート・御礼のお手紙を毎年送付いたします

単発サポーターになる

単発のご支援制度です。金額はご自由に選択頂けます。各種クレジットカード・銀行振り込みに対応しています。

RETURN ささやかな御礼の表明

- 私達の活動・取り組みについてのメールでお知らせいたします
- アニュアルレポートにお名前を記載いたします
- アニュアルレポート・御礼のお手紙を送付いたします

inochi Gakusei Innovators' Program (i-GIP) 特別サポーターになる

毎年開催の i-GIP 参加者の関係者様限定の単発支援制度です。支援額 ¥15,000 までのご用意です。

RETURN ささやかな御礼の表明

- i-GIP 特製のアルバムを送付いたします
- 私達の活動・取り組みをメールでお知らせいたします
- アニュアルレポートにお名前を記載いたします
- アニュアルレポート・御礼のお手紙を送付いたします



支援をお考えくださる方へ

左の QR コードより、「inochi WAKAZO 基金」ページにアクセスしてください。ご希望の支援制度を選択し、決済に進んでください。記入情報に不足がある場合適切な御礼がお送りできない場合がございますので、注意事項をよく読んでご支援いただくよう、よろしくお願い致します。個人情報は当団体プライバシーポリシーに則り適切に管理します。

お問い合わせ先

一般社団法人 inochi 未来プロジェクト



info@inochi-wakazo.org
https://inochi-wakazo.org



澤 芳樹

大阪大学大学院医学系研究科 特任教授
大阪警察病院 院長

医療者・企業・行政そして市民と患者も。関西・日本が、みんなでささえあいながら、健康で長生きできる街・国になることをめざす一般社団法人です。理事長の澤 芳樹をはじめとする9人の理事で構成されています。また、医大生を中心とする「inochi WAKAZO Project」とも連携し、多くの世代を巻き込んだ活動を行っています。